

# 鳥取大学大学院 連合農学研究科

2026 概要 OUTLINE

The United Graduate School of  
Agricultural Sciences  
Tottori University

構成大学



<https://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/>



# 入学式 Entrance Ceremony



令和7年度 鳥取大学大学院連合農学研究科入学記念 (2025年4月11日)



令和7年度 鳥取大学大学院連合農学研究科入学記念 (2025年10月3日)



# 鳥取大学大学院 連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

## 目次

■ 設置の趣旨・目的	1
■ 沿革	1
■ 研究科の構成	2
■ 全国の連合農学研究科	3
■ 管理運営	4
■ 連合講座の構成及び教員数	5
■ 教育・研究上の特色	5
■ 連合講座の概要	8
● 生産環境科学専攻	
● 生命資源科学専攻	
● 国際乾燥地科学専攻	
■ 入学資格等	10
■ 修了要件・学位	11
■ 学生数	12
■ 外国人留学生数	12
■ 学位取得者の状況	13
■ 教員の教育研究分野	14
■ 連合農学研究科の年間スケジュール(2026年度)	21
■ 構成大学(事務室)の位置図及び所在地	41

## 設置の趣旨・目的

鳥取大学大学院連合農学研究科は、鳥取大学、島根大学及び山口大学の3大学の農学系研究科（博士前期課程）が連合して平成元年（1989年）に設立された、後期3年のみの博士後期課程です。

本研究科の設置の目的は、一大学のみでは成し得ない広範かつ専門性の高い教育研究分野を組織した農学系の大学院博士後期課程の教育研究体制を作り、生産環境科学、生命資源科学及び国際乾燥地科学に関する研究を推進させ、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と生物関連諸産業の発展に寄与することです。

本研究科では、産業社会人に対する教育を重視しており、社会人学生を積極的に受け入れています。また、近年急増しつつある外国人学生、特に開発途上国からの留学希望者についても、母国の発展に寄与する人材として積極的に受入れています。さらに、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター（JIRCAS）および公立鳥取環境大学と協力して、教育研究の交流を図っています。

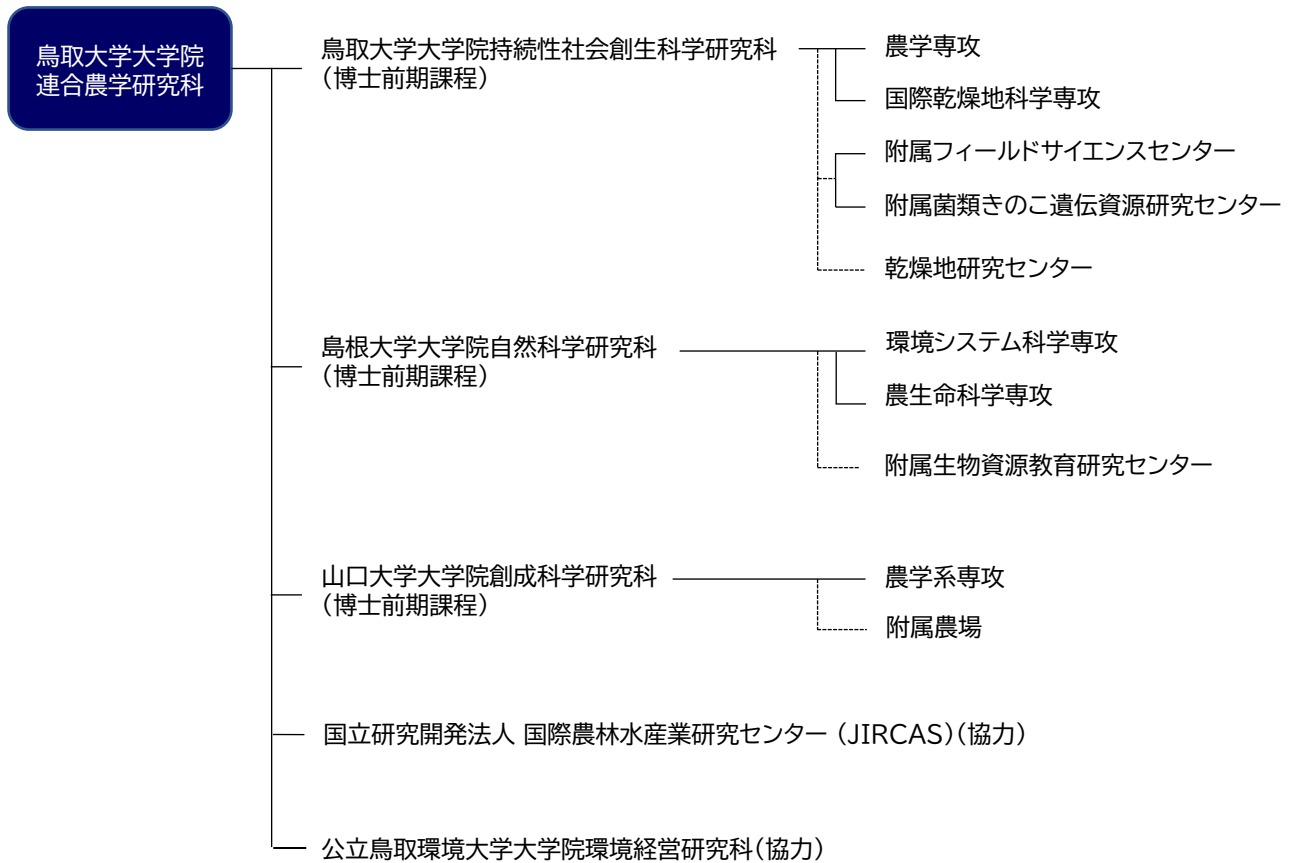
## 沿革

平成元年 (1989)	鳥取大学、島根大学および山口大学を構成大学とし、鳥取大学大学院連合農学研究科（博士課程）を設置 (3専攻7連合講座) 入学定員14名
平成5年 (1993)	連合農学研究科棟落成
平成7年 (1995)	秋季入学制度を導入
平成11年 (1999)	財団法人日本きのこセンター菌茸研究所と本研究科の教育・研究指導への協力に関する協定を締結 入学定員を14名から15名に増員
平成15年 (2003)	生物環境科学専攻に国際乾燥地農学連合講座を新設 入学定員を15名から17名に増員
平成17年 (2005)	「社会人長期履修制度」を導入
平成19年 (2007)	独立行政法人（現国際研究開発法人）国際農林水産業研究センター（JIRCAS）と本研究科の教育・研究指導への協力に関する協定を締結
平成19年 (2007)	「グローバルCOEプログラム」に「乾燥地科学拠点の世界展開」が採択
平成20年 (2008)	単位制を導入
平成20年 (2008)	「グローバルCOEプログラム」に「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」が採択
平成21年 (2009)	3専攻を「生物生産科学専攻」、「生物環境科学専攻」、「生物資源科学専攻」、「国際乾燥地科学専攻」の4専攻8連合講座へ改組
平成29年 (2017)	「社会人早期修了プログラム」開始
平成30年 (2018)	4専攻を「生産環境科学専攻」、「生命資源科学専攻」、「国際乾燥地科学専攻」の3専攻8連合講座へ改組 入学定員を17名から19名に増員
令和5年 (2023)	公立鳥取環境大学と本研究科の教育・研究指導への協力に関する協定を締結

# 研究科の構成

本学の大学院連合農学研究科は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科の博士前期課程の専攻と、附属施設並びに鳥取大学乾燥地研究センターを母体として編成しています。それぞれの研究科（博士前期課程）とは別の独立した研究科ですが、各大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されています。

## 連合農学研究科の母体組織



鳥取大学大学院  
持続性社会創生科学研究科

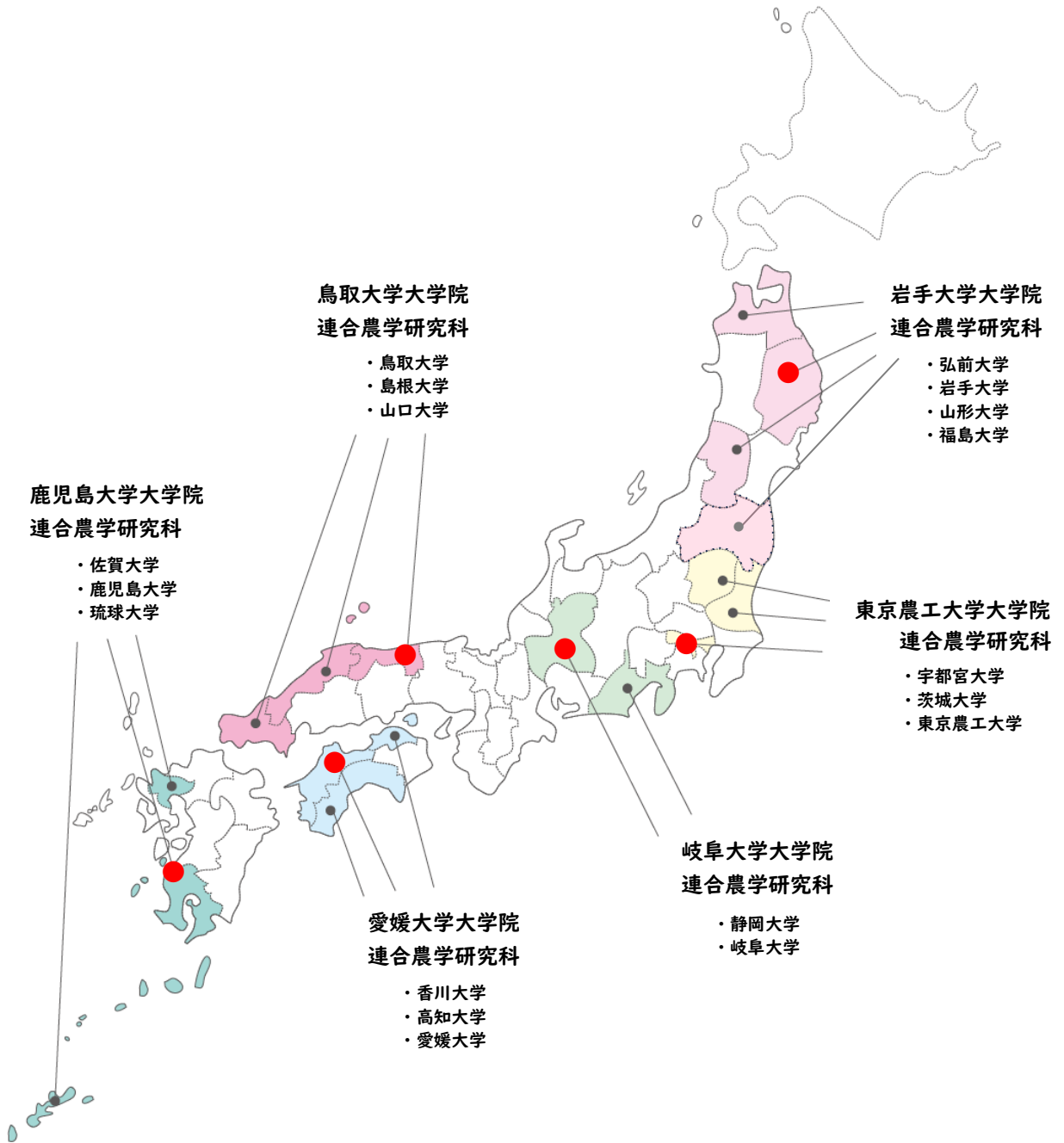


島根大学大学院自然科学研究科



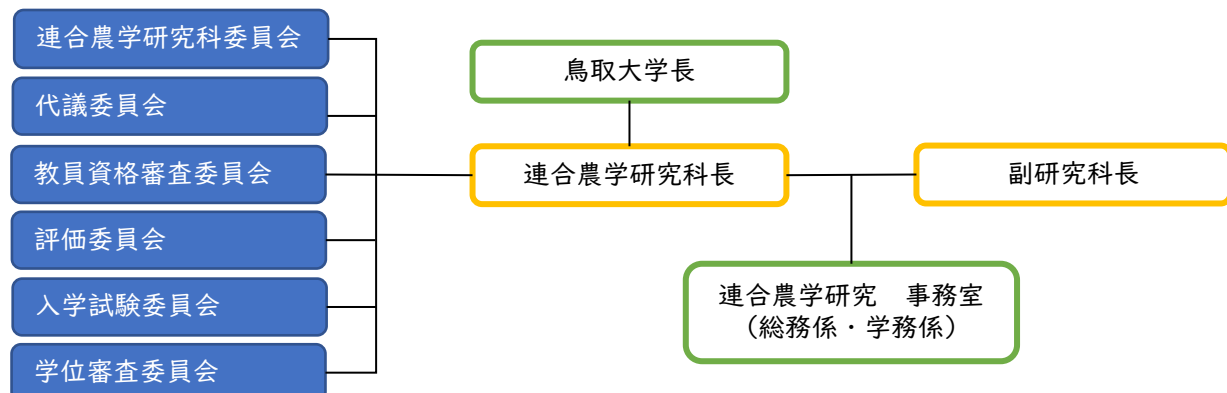
山口大学大学院創成科学研究科

# 全国の連合農学研究科



# 管理運営

## 連合農学研究科の管理運営組織



## 連合農学研究科の役職員

研究科長		河野 強	鳥取大学
副研究科長	専任教授	緒方 英彦	鳥取大学
研究科長特別補佐		藪田 行哲	鳥取大学
代議委員会委員			
[専攻]	[連合講座]		
生産環境科学	農業生産学	高橋 肇	山口大学
	経済・経営学	松田 敏信	鳥取大学
	森林・流域環境科学	石井 将幸	島根大学
	環境生物学	山口 啓子	島根大学
生命資源科学	菌類・きのこ科学	早乙女 梢	鳥取大学
	生物機能科学	丸田 隆典	島根大学
	資源利用化学	肥塚 崇男	山口大学
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	黒崎 泰典	鳥取大学

(令和8年4月1日現在)

※生物生産科学専攻、生物環境科学専攻、生物資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の4専攻を生産環境科学専攻、生命資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の3専攻に改組(2018年度)。

## 連合農学研究科を構成する大学の役職員

鳥取大学	学長	原田 省
	大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻長(農学部長)	明石 欣也
	大学院持続性社会創生科学研究科国際乾燥地科学専攻長	猪迫 耕二
	農学部事務長	徳長 博志
島根大学	学長	大谷 浩
	大学院自然科学研究科長(生物資源科学部長)	上野 誠
	松江地区学部等事務部総務課長	多久和 徹
山口大学	学長	谷澤 幸生
	大学院創成科学研究科副研究科長(農学部長)	荊木 康臣
	農学部事務長	田村 広明

(令和8年4月1日現在)

## 連合講座の構成及び教員数

本研究科には、生産環境科学、生命資源科学、国際乾燥地科学の3専攻があります。

専攻	連合講座	教員数				
		教授	准教授	講師	助教	計
生産環境科学	農業生産学	10	10(1)	0	1	21(1)
	経済・経営学	4	4	1	0	9
	森林・流域環境科学	6	8(1)	2	1	17(1)
	環境生物学	6	9(1)	0	3	18(1)
生命資源科学	菌類・きのこ科学	3	0	0	0	3
	生物機能科学	12	7(1)	0	1	20(1)
	資源利用化学	15	5	1	1	22
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	18(1)	14	0	1	33(1)
合計		74(1)	57(4)	4	8	143(5)

(令和8年4月1日現在)

- 1) 連合農学研究科教員とは、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科のうち、主指導教員又は副指導教員として博士課程担当の資格を有する教授、准教授、講師及び助教をいう。
- 2) ( )内は国際農林水産業研究センター(JIRCAS)および公立鳥取環境大学(大学院環境経営研究科)との連携による教員を内数で示す。
- 3) 生物生産科学専攻、生物環境科学専攻、生物資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の4専攻を生産環境科学専攻、生命資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の3専攻に改組(2018年度)。

## 教育・研究上の特色

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

鳥取大学大学院連合農学研究科は、学位授与の方針に示した人材の育成を図るため、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 農学及びその関連分野における、俯瞰的な広い視野に立った高度な探究者として共通に持つべき豊かな学識、素養及び社会的責任感に基づく倫理観を修得できる学位プログラム教育を実施します。
2. 生産環境科学専攻、生命資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野において、自己の専門分野及びその関連分野の深い知識と専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を修得させることに重点を置いた専門教育、さらに研究遂行能力等の実践力に重点を置いた学位プログラム教育を実施します。
3. 専門性の高い複数の教員の研究指導により、自立して独創的研究を遂行できる能力の修得を目指します。
4. 成績評価に関しては、研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修成果の評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づき博士論文の審査及び試験を実施します。また、学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

鳥取大学大学院連合農学研究科では、次のような人を広く受け入れます。

(1) 生産環境科学専攻、生命資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野で必要とされる博士前期課程相当の基礎知識と学力を有する人

(2) より高度で豊かな専門的知識・技術及び俯瞰的な広い視野の獲得、さらにそれらを応用した独創的な研究に取り組むことを志す人

(3) 社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけ、科学技術の発展と地域や国際社会の要請に寄与することを志す人

(4) 地域、国際社会が直面する問題に対処するための専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけ、専攻分野の研究を先導することを志す人。

連合農学研究科では、これらの人を受け入れるため、出願書類（研究計画書を含む）及び口頭試問により多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

各専攻が求める人材像は以下のとおりです。

### 【生産環境科学専攻】

農林業における生産・流通・消費、農林業の生産環境、及び森林・流域環境に関わる諸問題に関心があり、これらの諸問題解決に取り組みたいという強い意欲のある人。

### 【生命資源科学専攻】

動物、植物、菌類等が備える多様な生命機能に対して高い関心があり、その分子レベル及び遺伝子レベルでの解明と、資源としての幅広い利活用を視野に入れたバイオサイエンスに関わる先端的研究分野に挑戦したいという強い意欲のある人。

### 【国際乾燥地科学専攻】

世界の乾燥地における環境や食糧等に関わる諸問題に関心があり、幅広い視野と専門的知識・技術を生かして国際的に活躍したいという強い意欲のある人。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

鳥取大学大学院連合農学研究科では、農学及びその関連分野において、研究者として自立した研究活動または高度な専門的業務に従事するために必要な研究能力とその基盤となる学識、課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身に付けた上に、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格した場合、博士（農学）の学位を授与します。各専攻における学位授与者が備えるべき要件は以下のとおりです。

### 【生産環境科学専攻】

農林業における生産・流通・消費、農林業の生産環境、及び森林・流域環境に関わる各々の領域において発生する諸問題を改善・解決するために、卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野及び高い倫理観を修得している。

### 【生命資源科学専攻】

動物、植物、菌類等の多様な生物種の生命機能の解明や資源としての高度利用に関わる各々の領域で必要な、卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野および高い倫理観を修得している。

### 【国際乾燥地科学専攻】

世界の乾燥地における環境や食糧等に関わる諸問題を改善・解決するために、必要な卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野および高い倫理観を修得している。

## 教員組織

本研究科は、構成3大学に所属する教員によって組織されており、充実した教授陣容となっています。

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科を担当する教員のうち、主指導教員又は副指導教員として博士課程を担当する資格を有する教授、准教授、講師及び助教が連合農学研究科の教員となります。また、主指導教員、副指導教員及び指導教員を補助する教員（助教）として発令された教員が指導教員等として学生の教育及び研究指導を行っています。なお、国際農林水産業研究センター（JIRCAS）および公立鳥取環境大学との協力体制により、JIRCASの研究員・公立鳥取環境大学の教員（大学院環境経営研究科）も客員教授及び客員准教授として学生の教育及び研究指導に携わっています。

## 指導教員

学生は、主指導教員の教育研究分野一覧表により、自分の研究にふさわしいと思う主指導教員を選び、届け出ます。また、研究科は当人の希望を参考にして最も適した副指導教員2名を指名し、合計3名の指導教員で効率的な教育及び研究指導を行っています。

## 教育方法

学生は、主指導教員の属する大学に配置され、主指導教員のもとで研究指導を受け、各構成大学の研究設備や施設を一つの大学のものとして利用することができます。

本研究科では、単位制を平成20年度より導入し、教育は授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行っています。学生の学位申請には、14単位以上を修得し、学位論文の基礎となる学会誌等に発表した学術論文（共著論文の場合は、学生が筆頭著者であること）を2編以上有することを必須条件としています。

## 研究科共通科目

本研究科では、研究科設置の趣旨に基づき、広い視野に立った高度な農学探究者として共通に持つべき教養を体得させると共に、自己の専門分野に関連のある分野の深い知識を修得させるために、研究科共通科目を開講しています。研究科共通科目は、農学特論、各専攻学特論及び科学コミュニケーションの3つから構成されています。学生は、1年次に農学に関する一般的知識を修得するため、『農学特論J・E』を受講します。さらに、2年次には自分の専門領域と関連のある分野を中心とした幅広い知識を修得するために、『生産環境科学特論J・E』、『生命資源科学特論J・E』、『国際乾燥地科学特論J・E』の中から選択して受講します。また、同様に1・2年次には『科学コミュニケーションI・II』（必修）を受講しなければなりません。

# 連合講座の概要

## 生産環境科学専攻

### 農業生産学連合講座

農・園芸作物の生産を量・質の両面において向上させるために、それらの生理、生態学的研究はもとより、遺伝、育種学的研究やバイオテクノロジー利用による改良、増殖に関する研究を行います。また、我が国の中国地方の農業生産向上に寄与する研究も行います。さらに、熱帯作物や乾燥地作物の研究に対応できる組織・施設があります。いずれの研究分野も、学理の究明から技術化にいたる理論を構築して高度な教育と研究を行います。



### 経済・経営学連合講座

農林業における生産と流通に関わる諸要因と情報の的確な把握、分析を基礎として、国民経済や国際経済における農林業問題並びに各種経営体の合理的発展則などを解明します。また、農林業に必要な情報処理技術を開発すると同時に、国際的農林情報を解析して需給動向を測定します。

そして、これらを総合的に展開することにより農林業の経済的成立と発展に関する諸理論とその応用についての高度な教育と研究を行います。

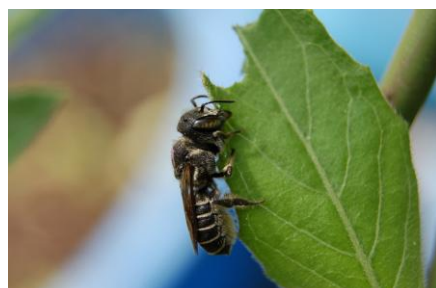


### 森林・流域環境科学連合講座

水系を1つの地理的単位と捉え、流域環境の保全・再生及び持続可能的利用について系統的かつ総合的に解明します。流域環境のうち、特に森林は重要な環境であり、また資源でもあります。そこで、森林の持つ水土保持、生物多様性保全、再生可能資源、大気環境安定、保健休養などの諸機能について、さらに水系を成す河川及び湖沼等の閉鎖性水域の水質、生態系の保全及び持続可能な資源利用に関する基礎的・応用的研究を実践します。

### 環境生物学連合講座

農林水産資源の保全、管理および活用を目的として、農林水産生態系およびその周辺環境において、種々の生物が織りなす生命現象を解明します。そのために、微生物、昆虫、植物および水棲生物などの生理・生態、植物-微生物相互作用、病虫害防除、農林水産業資源生物の評価などに関して、環境生物学に関する理論構築と技術の確立を目指した高度な教育と研究を行います。



## 生命資源科学専攻

### 菌類・きのこ科学連合講座

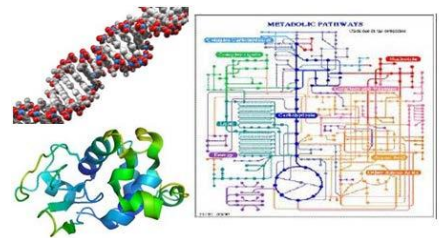
きのこを含む菌類を対象とし、菌類きのこが持つ多様な有用機能の活用、さらに未利用機能の開発を行うことによって、「環境保全」、「バイオ技術」、「健康増進」、「食料生産」に貢献しうる人材の育成と研究の推進を目的としています。そのために、菌類きのこ資源の探索、評価、保存等に関わる基盤領域から菌類きのこ資源の新機能の開拓と有用機能の利活用を目指す応用研究領域まで、幅広く菌類きのこ資源科学に関する高度な教育と研究を行います。



### 生物機能科学連合講座

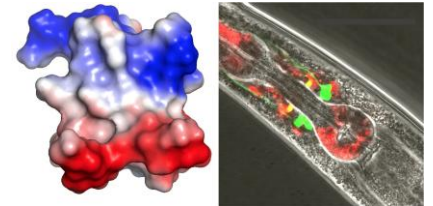
動物、植物、微生物など資源生物の複雑多様な生命現象を分子、細胞、個体及び異種生物間の相互作用系から生態系までの各レベルにおいて、系統的かつ総合的に解明します。

同時に、生物の持つ様々な機能の探索、改変、利用、管理、さらに高度な開発などの研究を通して、その結果を農業生産、発酵生産に応用します。このため、主として先端的生物科学と物質科学の両面から、バイオサイエンスの基礎と応用に関する高度な教育と研究を行います。



### 資源利用化学連合講座

本講座は、化学および生物学的手法を駆使して生物の複雑多様な生命現象を解明することで、生物資源の有効利用を探ることを目的とします。また、本講座では、生物有機化学、生物無機化学、生化学、食品・栄養化学、分子生物学、細胞生物学、構造生物学の分野で、生物資源に含まれる低分子物質から高分子物質まで様々な生理活性物質の特性の解明を通して、生物資源の有効活用法の基礎と応用に関する高度な教育と研究を行います。研究結果は、農産物の生産性の向上や機能性食品素材並びに医薬品関連化合物の開発に貢献します。



## 国際乾燥地科学専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

現在、人口増加と砂漠化による食料不足の問題はますます深刻化しており、人類に課せられた重要でかつ困難な国際的問題です。この問題を解決するには砂漠化防止と乾燥地における食料増産に向けた取組が必要です。国際乾燥地科学連合講座は、環境の改善と保全に関する応用的研究を目的とした水利用計画学、生態気候学、家畜飼養学、土壌圏生態工学、生物環境調節工学等を含む乾燥地科学に関する研究分野を横断的に統合した学際分野です。

本講座では、乾燥地科学領域において国際的に先導的な役割を果たし、世界的な砂漠化防止と緑化、乾燥地における食料生産等の乾燥地における諸問題の解決に貢献しうる高度で実践的な研究者、技術者の養成を目指した教育・研究を行います。



# 入学資格等

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

鳥取大学大学院連合農学研究科では、次のような人を広く受け入れます。

- (1)生産環境科学専攻、生命資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野で必要とされる博士前期課程相当の基礎知識と学力を有する人
- (2)より高度で豊かな専門的知識・技術及び俯瞰的な広い視野の獲得、さらにそれらを応用した独創的な研究に取り組むことを志す人
- (3)社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけ、科学技術の発展と地域や国際社会の要請に寄与することを志す人
- (4)地域、国際社会が直面する問題に対処するための専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけ、専攻分野の研究を先導することを志す人。

連合農学研究科では、これらの人を受け入れるため、出願書類（研究計画書を含む）及び口頭試問により多角的かつ総合的な評価による選考を行います。各専攻が求める人材像は以下のとおりです。

### 【生産環境科学専攻】

農林業における生産・流通・消費，農林業の生産環境，及び森林・流域環境に関わる諸問題に関心があり、これらの諸問題解決に取り組みたいという強い意欲のある人。

### 【生命資源科学専攻】

動物、植物、菌類等が備える多様な生命機能に対して高い関心があり、その分子レベル及び遺伝子レベルでの解明と、資源としての幅広い活用を視野に入れたバイオサイエンスに関する先端的研究分野に挑戦したいという強い意欲のある人。

### 【国際乾燥地科学専攻】

世界の乾燥地における環境や食糧等に関わる諸問題に関心があり、幅広い視野と専門的知識・技術を生かして国際的に活躍したいという強い意欲のある人。

## 出願資格

- ① 修士の学位を有する者
- ② 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

## 入学者の選抜

入学者の選抜は、口頭試問、調査書等を総合して行います。口頭試問は修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心に行います。また、テレビ会議システム等を用いて、自国にて口頭試問を受けることができる「外国人留学生特別入試制度」（渡日前入試制度）を設けています。

## 学生募集要項

入学者の選抜方法、日程等の詳細は、6月（10月入学）及び11月（4月入学）に発行する募集要項により公表します。

# 修了要件・学位

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

鳥取大学大学院連合農学研究科では、農学及びその関連分野において、研究者として自立した研究活動または高度な専門的業務に従事するために必要な研究能力とその基盤となる学識、課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身に付けた上に、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格した場合、博士（農学）の学位を授与します。各専攻における学位授与者が備えるべき要件は以下のとおりです。

### 【生産環境科学専攻】

農林業における生産・流通・消費、農林業の生産環境、及び森林・流域環境に関わる各々の領域において発生する諸問題を改善・解決するために、卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野及び高い倫理観を修得している。

### 【生命資源科学専攻】

動物、植物、菌類等の多様な生物種の生命機能の解明や資源としての高度利用に関わる各々の領域で必要な、卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野および高い倫理観を修得している。

### 【国際乾燥地科学専攻】

世界の乾燥地における環境や食糧等に関わる諸問題を改善・解決するために、必要な卓越した研究能力とその基盤となる豊かな学識、高度な技術、俯瞰的な広い視野および高い倫理観を修得している。

## 課程修了

本研究科に3年以上（優れた研究業績を挙げた者にあっては2年以上）在学し、14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することが必要です。

修了した者には、鳥取大学から博士（農学）の学位が授与されます。

## 論文提出による学位の授与

本研究科に学位論文を提出し、その審査に合格し、かつ本学大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することが確認された者に学位が授与されます。



## 学生数

専攻	定員		現員			
	入学定員	総定員	1年次	2年次	3年次	計
生産環境科学	8	26	10(4)	4(1)	12(4)	26(9)
生命資源科学	7	30	5(4)	15(6)	10(5)	30(15)
国際乾燥地科学	4	26	8(6)	4(3)	14(8)	26(17)
合計	19	82	23(14)	23(10)	36(17)	82(41)

(令和8年4月1日現在)

1) ( )内は外国人留学生を内数で示す。

2) 生物生産科学専攻、生物環境科学専攻、生物資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の4専攻を生産環境科学専攻、生命資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻の3専攻に改組(2018年度)。

## 外国人留学生数

地域	国籍	専攻			合計
		生産環境科学	生命資源科学	国際乾燥地科学	
アジア	中国	2	2	1	5
	バングラデシュ	2		1(1)	3(1)
	インドネシア	1	7(7)		8(7)
	タイ		1(1)		1(1)
	フィリピン	1(1)			1(1)
	インド		1		1
	スリランカ		3		3
	モンゴル			1	1
	台湾		1		1
アフリカ	スーダン	1		1(1)	2(1)
	エチオピア	1(1)		5(4)	6(5)
	ナイジェリア			4(3)	4(3)
	ベナン	1			1
	ガンビア			1(1)	1(1)
	タンザニア			1(1)	1(1)
	エジプト			1(1)	1(1)
中南米	メキシコ			1	1
合計		9(2)	15(8)	17(12)	41(22)

1) ( )内は国費留学生を内数で示す。

(令和8年4月1日現在)

# 学位取得者の状況

## 博士（課程修了による者）の学位取得者数

授与年度	博士(課程修了による者)の学位取得者数						
	専攻						計
	生物生産科学	生物環境科学	生物資源科学	生産環境科学	生命資源科学	国際乾燥地科学	
平成3年度(1991)～11年度(1999)小計	79 (58)	76 (43)	60 (27)				215 (128)
平成12年度 2000	7 (4)	14 (10)	9 (6)	-	-	-	30 (20)
平成13年度 2001	14 (9)	7 (3)	7 (5)	-	-	-	28 (17)
平成14年度 2002	7 (5)	12 (7)	5 (2)	-	-	-	24 (14)
平成15年度 2003	19 (12)	12 (7)	12 (7)	-	-	-	43 (26)
平成16年度 2004	18 (14)	7 (5)	13 (5)	-	-	-	38 (24)
平成17年度 2005	15 (9)	12 (8)	10 (6)	-	-	-	37 (23)
平成18年度 2006	12 (5)	13 (7)	8 (3)	-	-	-	33 (15)
平成19年度 2007	11 (7)	23 (17)	6 (3)	-	-	-	40 (27)
平成20年度 2008	8 (7)	16 (9)	8 (3)	-	-	-	32 (19)
平成21年度 2009	8 (5)	11 (7)	5 (4)	-	-	-	24 (16)
平成22年度 2010	4 (4)	12 (8)	6 (2)	-	-	-	22 (14)
平成23年度 2011	10 (7)	8 (5)	6 (4)	-	-	5 (5)	29 (21)
平成24年度 2012	6 (6)	10 (5)	5 (1)	-	-	8 (5)	29 (17)
平成25年度 2013	5 (2)	4 (2)	4 (2)	-	-	6 (4)	19 (10)
平成26年度 2014	4 (3)	4 (1)	4 (1)	-	-	4 (2)	16 (7)
平成27年度 2015	8 (5)	2 (2)	5 (2)	-	-	3 (3)	18 (12)
平成28年度 2016	9 (3)	5 (3)	3 (1)	-	-	2 (2)	19 (9)
平成29年度 2017	8 (5)	0	3 (1)	-	-	5 (5)	16 (11)
平成30年度 2018	0	2 (1)	2 (1)	-	-	8 (6)	12 (8)
令和元年度 2019	5 (3)	8 (5)	3 (2)	-	-	9 (6)	25 (16)
令和2年度 2020	3 (3)	1	2 (1)	4(2)	1	10 (9)	21 (15)
令和3年度 2021	1 (1)	2 (2)	1	3(1)	3(1)	9 (7)	19 (12)
令和4年度 2022	2	0	0	7(3)	7(3)	7(7)	23 (13)
令和5年度 2023		1	2(1)	3(1)	6(3)	4(3)	16 (8)
令和6年度 2024			1(1)	12(8)	8(6)	8(8)	29(23)
令和7年度 2025				5(2)	5(3)	9(7)	19(12)
計	263 (177)	262 (157)	190(91)	34(17)	30(16)	97(79)	876 (537)

※ ( ) 内は外国人留学生を内数で示す。

(令和8年4月1日現在)

## 博士（論文提出による者）の学位取得者数

授与年度	博士(論文提出による者)の学位取得者数	授与年度	博士(論文提出による者)の学位取得者数
平成4年度(1992)～11年度(1999)小計	20(3)	平成25年度 2013	10(1)
平成12年度 2000	7(1)	平成26年度 2014	3
平成13年度 2001	4	平成27年度 2015	4
平成14年度 2002	4(1)	平成28年度 2016	8(2)
平成15年度 2003	8(3)	平成29年度 2017	3(1)
平成16年度 2004	5(2)	平成30年度 2018	3(1)
平成17年度 2005	8(1)	令和元年度 2019	1
平成18年度 2006	5(2)	令和2年度 2020	1
平成19年度 2007	8(3)	令和3年度 2021	1
平成20年度 2008	4	令和4年度 2022	1
平成21年度 2009	10(3)	令和5年度 2023	0
平成22年度 2010	7(2)	令和6年度 2024	0
平成23年度 2011	6(2)	令和7年度 2025	0
平成24年度 2012	8(3)	合計	139(31)

※ ( ) 内は外国人留学生を内数で示す。

(令和8年4月1日現在)

# 教員の教育研究分野

## 主指導教員有資格者の教育研究分野(2026年4月1日現在)

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生産環境科学	農業生産学	荒木 英樹	山口大学	栽培学	不良環境下における作物の生産機能とその栽培学的応用
		小林 伸雄	島根大学	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用
		高橋 肇	山口大学	作物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究
		竹村 圭弘	鳥取大学	園芸生産学	園芸作物の栽培生理に関する研究
		田中 裕之	鳥取大学	植物遺伝学	小麦粉品質の改良に関する遺伝育種学的研究
		鶴永 陽子	島根大学	食品加工学	食品加工における製造方法と機能性に関する研究
		中務 明	島根大学	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用
		野波 和好	鳥取大学	農業生産工学	農作業の機械化に関する研究
		松本 真悟	島根大学	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明
		谷野 章	島根大学	植物環境工学	植物栽培環境における光工学技術の応用
	経済・経営学	Asres Elias Baysa	鳥取大学	農村開発学・農業普及学	アフリカ・東南アジアにおける農村・農業開発プログラムに関する社会経済学的研究：特に、農業生産性および農家世帯の生計向上、貧困緩和への効果に焦点をあてて
		木原 奈穂子	鳥取大学	アグリビジネス会計学	農業・農村の組織運営と会計に関する研究
		筒井 一伸	鳥取大学	農村地理学・地域経済論	農山村の地域経済と地域づくりに関する研究
		松田 敏信	鳥取大学	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析
		松村 一善	鳥取大学	農業経営学	農業経営と農村社会の相互関係に関する研究
		保永 展利	島根大学	地域経済学	条件不利地域の農地、地域社会、経済の持続性に関する研究
		安延 久美	鳥取大学	国際農業開発学	東南アジアにおける農業・農村開発に関する研究
	森林・流域環境科学	石井 将幸	島根大学	地域基盤工学	水利施設の補修補強に関する設計手法の開発
		岩崎 亘典	鳥取大学	地理情報科学	地理情報システムを用いた里地里山の景観変遷に関する研究とオープンソース、オープンデータの活用
		久保 満佐子	島根大学	植物生態学	植物の生態および植生、保全に関する研究
		永松 大	鳥取大学	植物生態学	森林・草原の植物個体群動態と植生科学、生物多様性保全
		藤本 高明	鳥取大学	木材理学	木材性質変動の解析および計測評価手法の開発
		吉村 哲彦	島根大学	森林利用学	森林利用・木材収穫における社会的・技術的諸課題に関する研究
		荒西 太士	島根大学	保全生態学	水域生物圏の保全遺伝学と進化生態学
	環境生物学	上野 誠	島根大学	植物病理学	植物-病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究
		上中 弘典	鳥取大学	植物微生物相互作用学	植物における免疫応答と菌根共生の分子機構の解明
		唐澤 重考	鳥取大学	多様性生物学	無脊椎動物の遺伝子・種多様性に関する研究
		木原 淳一	島根大学	植物病理学	植物病原系状菌の光環境応答
		中 秀司	鳥取大学	害虫制御学	ガ類を主とした昆虫類の化学生態解明と防除への応用
		細井 栄嗣	山口大学	応用動物生態学	害獣および希少動物の保護・管理のための生態学的研究
山口 啓子		島根大学	水圏生態学	ベントスを中心とした生物の生態と水圏環境に関する研究	

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野		
				名称	内容	
生命資源科学	菌類・きのこ科学	會見 忠則	鳥取大学	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学	
		霜村 典宏	鳥取大学	菌類育種栽培学	きのこ類遺伝資源の育種・栽培に関する研究	
		早乙女 梢	鳥取大学	菌類系統分類学	きのこ類の系統分類と木材腐朽性担子菌の生態に関する研究	
	生物機能科学	有馬 二郎	鳥取大学	生命機能化学	微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用	
		石川 孝博	島根大学	植物分子生理学	光合成生物における抗酸化物質合成と活性酸素代謝機構	
		岩崎 崇	鳥取大学	生体制御化学	生体機能を制御する生理活性物質の探索および開発に関する研究	
		塩月 孝博	島根大学	生物制御化学	昆虫を主な対象とする生物制御の分子機構解明と化学生物学的应用	
		古水 千尋	島根大学	微生物遺伝学	分裂酵母のシグナル伝達経路による細胞周期の制御機構	
		松尾 安浩	島根大学	植物生産生理学	植物の環境ストレス耐性機構の解明と応用	
		丸田 隆典	島根大学	植物生理学	植物のレドックス代謝ネットワークとストレス応答	
		山本 敦史※	鳥取大学 (公立鳥取環境大学)	環境質量分析学	環境中の機能性あるいは有害成分の質量分析法を用いた探索・評価	
		資源利用化学	石原 亨	鳥取大学	天然物化学	植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、合成に関する研究
			一柳 剛	鳥取大学	有機化学	合成化学的アプローチによる生物活性化合物の機能解明
	河野 強		鳥取大学	生物有機化学	環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構	
	肥塚 崇男		山口大学	植物代謝生化学	植物特化代謝産物の多様性の解明と代謝変化に関する研究	
	地阪 光生		島根大学	食品機能化学分野	酵素および微生物による機能性食品成分の機能性の改変	
	清水 英寿		島根大学	栄養病態生理学	食品由来腸内細菌代謝産物や藍藻類由来毒素による病態発症メカニズムの解明	
	田村 純一		鳥取大学	有機化学	生理活性糖鎖の化学合成と天然糖鎖の単離・構造決定	
	Hemanth Nag Noothalapati Venkata		島根大学	分子分光・イメージング	AI支援分光イメージング技術の創出と応用	
	美藤 友博	鳥取大学	食品機能学	食品に含まれるビタミンやその他食品成分の生体機能に関する研究		
	藪田 行哲	鳥取大学	栄養科学	抗酸化ビタミンの機能と酸化ストレス応答に関する研究		
山本 達之	島根大学	生命分子分光学	分子分光学の生命科学や医療への応用			
吉清 恵介	島根大学	分子認識工学	シクロデキストリン包接体の食品応用に関する研究			

専攻	連合講座	主指導教員 氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
国際乾燥地 科学	国際乾燥地 科学	明石 欣也	鳥取大学	分子細胞生物学	耐乾性植物のストレス分子応答および環境耐性植物の分子育種
		Nigussie Haregeweyn AYEHU	鳥取大学	土地管理	流域プロセスのモニタリング、モデリング及び管理に関する研究
		安 萍	鳥取大学	植物生理生態学	乾燥地における植物の生理的応答と機構および生態学に関する研究
		石井 孝佳	鳥取大学	植物細胞遺伝学	細胞工学的手法による作物の改良
		一戸 俊義	鳥根大学	家畜飼養学	反すう家畜の栄養と生産システムの評価
		猪迫 耕二	鳥取大学	水土環境保全学	水土環境の保全と再生ならびに持続可能な利用に関する研究
		荊木 康臣	山口大学	生物環境調節工学	環境制御型植物生産システムに関する研究
		遠藤 常嘉	鳥取大学	土壌化学	乾燥地域における灌漑農地の塩類動態と土壌劣化に関する研究
		緒方 英彦	鳥取大学	水利施設工学	水利構造物の建設材料と構造性能の評価
		岸井 正浩	鳥取大学	植物遺伝資源開発学	環境耐性が高い植物遺伝資源の育種への活用研究
		衣笠 利彦	鳥取大学	乾燥地緑化保全学	乾燥・半乾燥草原に生育する植物の生態学および生態生理学
		木村 玲二	鳥取大学	乾燥地気象学	乾燥地における気象現象の観測と物理的解明
		黒崎 泰典	鳥取大学	乾燥地気候学	乾燥地における気候変動、風食、ダスト発生、ダストの気候影響
		佐久間 俊	鳥取大学	植物分子育種学	作物の重要形質を制御する遺伝的基盤の解明とゲノム育種
		清水 克之	鳥取大学	水利用学	農業用水管理のモニタリングと評価
		鈴木 賢士	山口大学	気象学	降水メカニズム解明のための観測研究と降水粒子測定手法の開発
		田川 公太郎	鳥取大学	自然エネルギー工学	自然エネルギー利用技術の開発と最適システム設計に関する研究
		谷口 武士	鳥取大学	微生物生態学	土壌および植物根圏微生物の生態と利用
		坪 充	鳥取大学	気候リスク管理学	乾燥地における農業気象と気候変動対応型農業
		西原 英治	鳥取大学	乾燥地作物栽培学	乾燥地を含む地域における作物栽培体系の構築に関する研究
兵頭 正浩	鳥取大学	施設環境材料学	農業水利施設の維持管理と環境を考慮した材料に関する研究		
Fenta Ayele Almw	鳥取大学	水文学および地理空間解析	水文過程のモニタリングおよびモデリング、水文気候極端現象の解析、ならびに地理空間解析手法の応用		
藤巻 晴行	鳥取大学	灌漑排水学	乾燥地における節水灌漑と塩類集積防止		
山田 智	鳥取大学	植物栄養学	乾燥地における植物のストレス応答機構に関する研究		

※協力機関(JIRCAS、公立鳥取環境大学)との連携

# 教員の教育研究分野

## 指導教員有資格者の教育研究分野(2024年4月1日現在)

専攻	連合講座	主指導教員 氏名	所属大学	教育研究分野		
				名称	内容	
生産環境科学	農業生産学	池浦 博美	島根大学	園芸利用学	園芸植物の香気と機能性に関する研究	
		氏家 和広	島根大学	作物生産科学	山陰地方におけるキノア栽培の導入に関する研究	
		江角 智也	島根大学	園芸生理学	果樹を中心とした木本植物の花成、花芽形成、開花、生殖、果実成長にまつわる研究	
		角野 貴信 ※	鳥取大学(公立鳥取環境大学)	土壌学	ペドロロジーに基づく物質動態モデルの構築	
		門脇 正行	島根大学	作物学	作物の光合成と乾物生産に関する研究	
		金 貞希	山口大学	果樹園芸	果樹における諸形質の遺伝と育種への利用	
		小林 和広	島根大学	作物学	非生物的ストレス環境下での作物生産	
		近藤 謙介	鳥取大学	施設園芸学	野菜の栽培技術に関する研究	
		執行 正義	山口大学	野菜園芸学	野菜の育種と栽培に関する研究	
		城 惣吉	島根大学	土壌微生物学	共生窒素固定を活用したマメ科作物の生産性向上に関する研究	
	田中 秀幸	島根大学	園芸生産学	園芸植物の生産技術に関する研究		
	遠山 裕基	鳥取大学	地域農業組織学	農家組織・地域住民組織の形態と機能に関する研究		
	中間 由紀子	島根大学	農政学	戦後日本の農業政策に関する研究		
	岩永 史子	鳥取大学	樹木生理学	森林における樹木の生理生態学的研究		
	上野 和広	島根大学	水循環設計工学	農業水利施設の維持管理および減災・防災対策		
	加藤 禎久 ※	鳥取大学(公立鳥取環境大学)	緑地計画学	生態学理論に基づく広域の緑地計画とデザイン		
	桑原 智之	島根大学	水環境保全学	水域環境の保全及び排水・環境水の浄化に関する研究		
	菅森 義晃	鳥取大学	地球史学	地質学を通して地球史や地球の仕組みを解明する研究		
	森林・流域環境科学					

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生産環境科学	森林・流域環境科学	高橋 絵里奈	島根大学	森林資源管理学	人工林の森林管理ならびに天然林の動態に関する研究
		芳賀 弘和	鳥取大学	森林水文学	水循環, 有機物流出, および流木動態に関する研究
		萩原 大生	山口大学	非破壊検査工学	流体-構造の相互作用に基づく送配水パイプラインの非破壊検査
		山下 多間	島根大学	森林科学	森林生態環境学
		山中 啓介	鳥取大学	育林学	林業および森林管理に関する研究
	環境生物学	米 康充	島根大学	森林リモートセンシング	衛星・航空機・UAV・地上レーザを用いた森林の計測と資源管理に関する研究
		泉 洋平	島根大学	昆虫生理学	昆虫の休眠および低温耐性に関する研究
		大崎 久美子	鳥取大学	植物病理学	植物-病原体間相互作用における植物病害防除に関する研究
		太田 太郎 ※	鳥取大学 (公立鳥取環境大学)	水圏生物学	水圏生物の生態および保全と管理に関する研究
		北沢 優悟	山口大学	植物病理学	植物病原細菌の植物への感染機構に関する研究
		木戸 一孝	鳥取大学	植物病理学	種子伝染性の植物病原細菌に関する研究
		佐々木 一紀	山口大学	植物病理学	植物-病原菌相互作用における病原性発現機構の解析
		清水 加耶	島根大学	昆虫生態学	昆虫と植物の種間関係
		林 昌平	島根大学	微生物生態学	ダイズ根粒菌、南極細菌、シアノバクテリアの環境中における生態とその応用
		堀之内 正博	島根大学	類生態学	沿岸域に存在する海草藻場、マングローブ域などに生息する魚類の生態に関する研究
		柳 由貴子	山口大学	土壌学	土壌有機物の挙動・土壌生成

※協力機関(JIRCAS、公立鳥取環境大学)との連携

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生命資源科学	生物機能科学 生物機能科学	今村 博臣	山口大学	分析細胞生化学	生細胞内代謝解析法の開発とエネルギー代謝恒常性に関する研究
		岡 真理子	鳥取大学	植物環境生理学	多様な環境条件下における植物生理応答機構に関する研究
		小川 貴央	島根大学	植物分子生理学	植物における補酵素型ビタミンの代謝に関する研究
		戒能 智宏	島根大学	応用微生物学	コエンザイムQ (ユビキノン) の生合成, 代謝制御と機能の解明
		片岡 尚也	山口大学	発酵生理工学	発酵微生物の生理特性の理解とその生物工学的活用
		高坂 智之	山口大学	微生物機能学	微生物細胞を利用して遺伝子の機能を解析する研究
		佐藤 悠	山口大学	温度微生物学	微生物の温度適応メカニズムの研究とその応用
		中川 強	島根大学	植物分子遺伝学	植物の発達と成長を制御する遺伝子の機能解明
		蜂谷 卓士	島根大学	植物栄養生理学	植物の窒素栄養応答メカニズムの研究
		薬師 寿治	山口大学	生化学	生化学
		湯山 育子	山口大学	環境微生物学	海洋無脊椎動物中の共生性微生物の機能解明と細胞内共生過程の解明
		吉田 真明	島根大学	ゲノム生物学	ゲノム情報に基づく海洋無脊椎動物の進化と生物多様性の研究
	資源利用化学	阿座上 弘行	山口大学	分子微生物学	バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム
		赤壁 善彦	山口大学	有機化学	天然生物活性物質の探索
		井内 良仁	山口大学	食品機能化学	アンチエイジングと寿命延長を目指した超長寿命昆虫やマトシロアリの生存戦略研究
		石垣 美歌	島根大学	分子分光学, 分析化学	分子分光法を用いた生体および生体分子の非破壊分析
		上野 琴巳	鳥取大学	生物活性化学	植物ホルモン様化合物の単離と構造改変
		小崎 紳一	山口大学	生体反応化学	生物有機化学・生物無機化学
		木股 洋子	山口大学	生体分子科学	植物の同化系代謝統御メカニズムの解明と応用
		西村 浩二	島根大学	植物分子細胞生物学	植物タンパク質の膜交通機構の解析および機能性植物の創出やその活用
前野 慎太郎	山口大学	食品微生物学	細菌の分類と環境適応に関する研究		
松井 健二	山口大学	植物生化学	植物代謝経路の解明とその生理生態学的機能の解明		

専攻	連合講座	主指導教員 氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
国際乾燥地 科学	国際乾燥地 科学	井芹 慶彦	鳥取大学	水文学	乾燥地における水文気象過程に関わる研究
		齊藤 忠臣	鳥取大学	地圏環境保全学	乾燥地土壌・水文・植物を対象とした環境モニタリング手法の開発と評価
		佐合 悠貴	山口大学	施設園芸学	施設園芸における植物の生理機能の評価とモデル化
		佐藤 邦明	島根大学	土壌圏生態工学	土壌圏の生態工学的手法による環境修復および資源循環
		宋 相憲	島根大学	動物生理学	動物栄養生理・昆虫の生産利用
		林 慶一 ※	鳥取大学 (JIRCAS)	気候リスク管理学	乾燥地を含む開発途上地域における農業気象と気候変動対応型農業
		Mohamed Mutasim Eltayeb Elebeid	鳥取大学	微生物バイオテクノロジー	環境・食品微生物の機能解明
		山崎 由理	鳥取大学	水圏環境科学	農業地域における水圏環境の影響評価に関する研究
		劉 佳啓	島根大学	環境物理学	農業環境における高度計測技術の開発と物理現象の解明

※協力機関(JIRCAS、公立鳥取環境大学)との連携

# 連合農学研究科の年間スケジュール(2026年度)

年月日	スケジュール
2026年	
4月10日(金)	■前期入学式、オリエンテーション ■代議委員会
5月15日(金)	■代議委員会
5月20日(水)～5月22日(金)	■科学コミュニケーションI
6月2日(火)～6月9日(火)	■前期修了予定者の学位論文審査申請受付
6月4日(木)	■後期入学用学生募集要項発表
6月15日(月)～6月19日(金)	■後期入学出願資格認定申請受付
6月17日(水)～6月19日(金)	■連合一般ゼミナール(日本語)/農学特論J
7月3日(金)	■代議委員会 ■教員資格審査委員会
7月14日(火)～7月17日(金)	■後期入学願書受付
7月22日(水)～7月29日(水)	■各専攻特論
8月19日(水)～8月20日(木)	■後期入学者選抜試験
8月21日(金)	■代議委員会 ■第96回 研究科委員会
8月28日(金)	■後期入学者選抜試験の合格者発表
9月11日(金)	■学位記授与式
10月2日(金)	■後期入学式、オリエンテーション ■代議委員会
10月7日(水)～10月9日(金)	■科学コミュニケーションII
11月4日(水)	■前期入学用学生募集要項発表
11月6日(金)	■代議委員会
11月18日(水)～11月20日(金)	■連合一般ゼミナール(英語)/農学特論E
11月27日(金)	■代議委員会
12月2日(水)～12月9日(水)	■後期修了予定者の学位論文審査申請受付
12月4日(金)	■代議委員会
2027年	
1月5日(火)～1月8日(金)	■前期入学願書受付
1月8日(金)	■代議委員会 ■教員資格審査委員会
2月9日(火)～2月10日(水)	■前期入学者選抜試験
2月12日(金)	■代議委員会 ■第97回研究科委員会
2月24日(水)	■前期入学者選抜試験の合格者発表
3月5日(金)	■代議委員会
3月8日(月)	■学位記授与式



# 鳥取大学大学院 連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

## CONTENTS

■ Purpose of Foundation .....	22
■ History .....	22
■ Organization .....	23
■ Universities with United Graduate Schools of Agricultural Sciences .....	24
■ Management and Operation .....	25
■ Composition of Courses and Faculty Members .....	26
■ Characteristics of Education and Research .....	26
■ Outline of Courses .....	27
● Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	
● Bioresource and Life Sciences	
● Global Dryland Science	
■ Qualifications of Applicants .....	29
■ Requirements for Doctoral Degree .....	30
■ Number of Students .....	31
■ Number of Foreign Students .....	31
■ Number of Successful Doctoral Degree Candidates .....	32
■ Research and Educational Fields of Major Supervisors .....	33
■ Annual Schedule for FY 2026.....	40
■ Information Contacts of Member Universities .....	41

## Purpose of Foundation

The United Graduate School of Agricultural Sciences, UGSAS, was founded in 1989 as an independent three-year Doctoral Course at Tottori University. The member Universities are the Graduate Schools (Master's Course) of three Universities, Tottori, Shimane and Yamaguchi, in the Chugoku district of Japan. The School consists of three Doctoral Courses: Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences and Global Dryland Science. Each Doctoral Course contains one to four Research Divisions, and each Division offers basic and applied research programs.

The mission of the UGSAS is to extend, evaluate, preserve, and transmit ideas and knowledge through teaching and research at an advanced level for the benefit of the Chugoku district, and for the good of the wider national and international community. UGSAS accepts not only admissions of graduate students and qualified researchers from private and public organizations in Japan, but also foreign students and researchers, especially those from developing countries. In addition, the School cooperates with Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS) and Public University Corporation Tottori University of Environmental Studies (Master's Course) for promoting education and research activities.

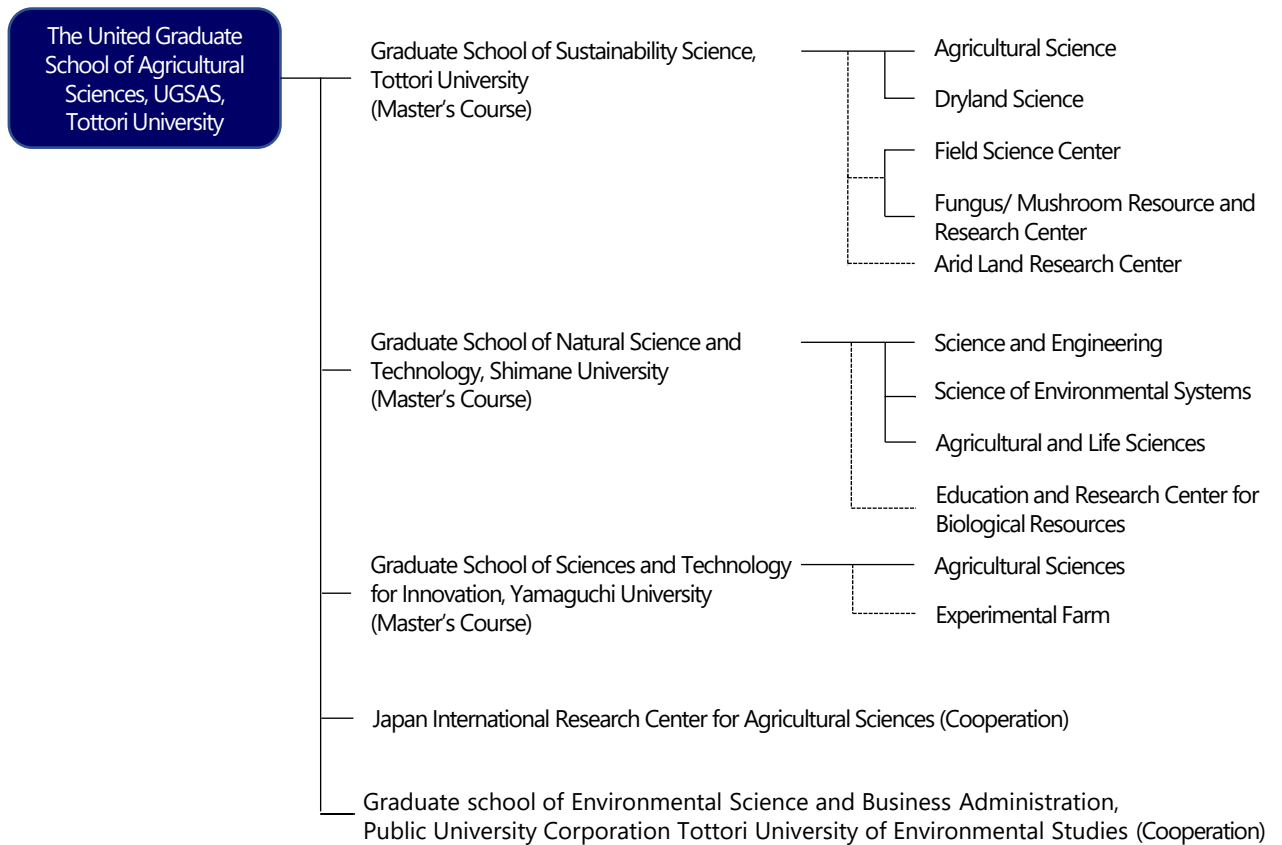
## History

1989	Establishment of the United Graduate School of Agricultural Sciences (UGSAS) as an independent three-year Doctoral Course at Tottori University. The member of universities are the Graduate Schools (Master's Course) of Tottori, Shimane and Yamaguchi Universities. The UGSAS consists of three Courses including seven Divisions (the quota of students: 14).
1993	The completion of the new building of the UGSAS
1995	Start of the fall enrollment system in addition to the spring enrollment
1999	Cooperation with The Japan Kinoko Research Center Foundation (The Tottori Mycological Institute) for promoting education and research activities An increase in the quota of students (14 to 15)
2003	Establishment of the Division of International Studies on Dryland Agriculture An increase in the quota of students (15 to 17)
2005	Start of the system for extending the period of registration for working people
2007	Cooperation with Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS) for promoting education and research activities
2007	Adoption of the Global COE Program by MEXT "Global Center of Excellence for Dryland Science"
2008	Start of the credit-based system
2008	Adoption of the Global COE Program by MEXT "Advanced Utilization of Fungus/Mushroom Resources for Sustainable Society in Harmony with Nature"
2009	Reorganization of the original three Courses to the four Courses with eight Divisions (Course: Bioproduction Science, Bioenvironmental Science, Bioresource Science, Global Arid Land Science)
2017	Start of the early completion program for working students
2018	Reorganization of the four Courses to the three Courses with eight Divisions (Course: Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences, Global Dryland Science). An increase in the quota of students (17 to 19)
2023	Cooperation with Graduate school of Environmental Science and Business Administration, Public University Corporation Tottori University of Environmental Studies(Master's Course) for promoting education and research activities

# Organization

The UGSAS is organized on the bases of the three Master's Courses of Tottori, Shimane and Yamaguchi Universities, the Research Facilities of each University and Arid Land Research Center, Tottori University. The School is operated in close alliance and cooperation with the Master's Courses of the three universities, but it is an independent three-year Doctoral Course separated from the Master's Courses.

## Fundamental Organization of the UGSAS



Graduate School of Sustainability Science, Tottori University

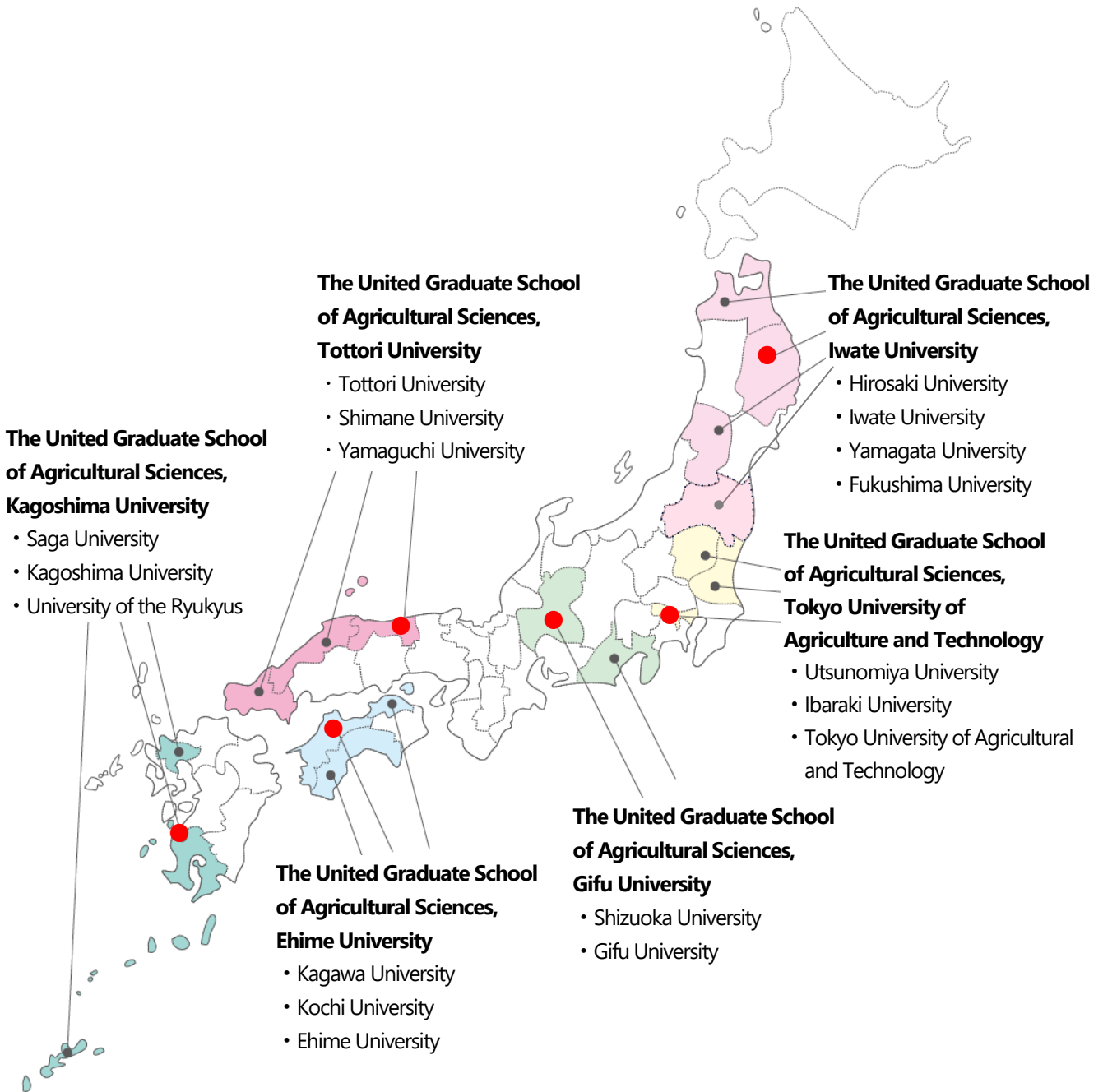


Graduate School of Natural Science and Technology, Shimane University



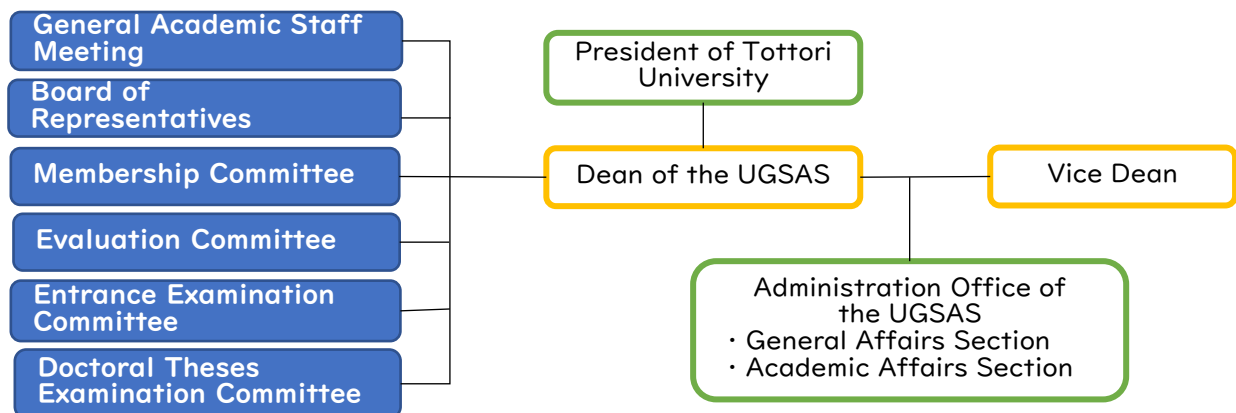
Graduate School of Sciences and Technology for Innovation, Yamaguchi University

# Universities with United Graduate Schools of Agricultural Sciences



# Management and Operation

## Organization of the Management



## Staff of the UGSAS

Dean		Tsuyoshi KAWANO	Tottori
Vice Dean	Full time Professor	Hidehiko OGATA	Tottori
Assistant Dean		Yukinori YABUTA	Tottori
Representatives of each Division			
[ Course ]	[ Division ]		
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Agricultural Production Science	Tadashi TAKAHASHI	Yamaguchi
	Managerial Economics	Toshinobu MATSUDA	Tottori
	Forest and Watershed Environmental Sciences	Masayuki ISHII	Shimane
	Environmental Bioscience	Keiko YAMAGUCHI	Shimane
Bioresource and Life Sciences	Fungus and Mushroom Sciences	Kozue SOTOME	Tottori
	Bioscience and Biotechnology	Takanori MARUTA	Shimane
	Applied Bioresource Chemistry	Takao KOEDUKA	Yamaguchi
Global Dryland Science	Global Dryland Science	Yasunori KUROSAKI	Tottori

(As of April 1, 2026)

## Representative Staffs of the Participating Universities

Tottori	President	Tasuku HARADA
	Dean of the Faculty of Agriculture, Chair of the Department of Agricultural Science of the Graduate School of Sustainability Science	Kinya AKASHI
	Chair of the Department of Dryland Science of the Graduate School of Sustainability Science	Koji INOSAKO
	Administrative Head of the Faculty of Agriculture	Hiroshi TOKUNAGA
Shimane	President	Hiroki OTANI
	Dean of the Faculty of Life and Environmental Science, Dean of the Graduate School of Natural Science and Technology	Makoto UENO
	Head of General Affairs Division, Matsue Faculties Administration Department	Toru TAKUWA
Yamaguchi	President	Yukio TANIZAWA
	Dean of the Faculty of Agriculture, Vice Dean of the Graduate School of Sciences and Technology for Innovation	Yasuomi IBARAKI
	Administrative Head of the Faculty of Agriculture	Hiroaki TAMURA

(As of April 1, 2026)

# Composition of Courses and Faculty Members

## Research Division and Faculty Members

The UGSAS consists of three Doctoral Courses: Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences and Global Dryland Science.

Course	Division	Number of Faculty Members				
		Professors	Associate Professors	Junior Associate Professors	Assistant Professors	Total
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Agricultural Production Science	10	10(1)	0	1	21(1)
	Managerial Economics	4	4	1	0	9
	Forest Resources Science	6	8(1)	2	1	17(1)
	Environmental Bioscience	6	9(1)	0	3	18(1)
Bioresource and Life Sciences	Fungus and Mushroom Sciences	3	0	0	0	3
	Bioscience and Biotechnology	12	7(1)	0	1	20(1)
	Applied Bioresource Chemistry	15	5	1	1	22
Global Dryland Science	Global Dryland Science	18(1)	14	0	1	33(1)
Total		74(1)	57(4)	4	8	143(5)

(As of April 1, 2026)

- 1) Number of faculty members contains Professors, Associate Professors, Junior Associate Professors and Assistant Professors who are qualified as major supervisors or associate supervisors of the UGSAS.
- 2) Numbers of invited Professors and Associate Professors in cooperation with JIRCAS (Japan International Research Center for Agricultural Sciences) and Graduate school of Environmental Science and Business Administration, Public University Corporation Tottori University of Environmental Studies are indicated in parenthesis.
- 3) Four courses (Bioproduction Science, Bioenvironment Science, Bioresources Science, Global Arid Land Science) were reorganized into three courses (Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences, Global Dryland Science) on Apr.1, 2018.

## Characteristics of Education and Research

### Curriculum Policy

In an effort to develop the human resources described in the Diploma Policy, the UGSAS will provide education that enables students to nurture and acquire the common knowledge required of competent researchers with a broad view of agriculture and related fields; specialized education in each major field of bioproduction and bioenvironmental sciences, bioresource and life sciences and global dryland science. With a focus on the acquisition of in-depth knowledge concerning their majors and related fields; and degree program education with a focus on the development of practical skills, such as skills to carry through research.

### Organization of Faculty Members

The UGSAS is operated by the highly qualified academic staff of the participating Universities, Tottori, Shimane and Yamaguchi.

The academic staffs composed of are Professors, Associate Professors, Junior Associate Professors and Assistant Professors who are qualified as the major supervisors or associate supervisors for the Doctoral Course. In addition, research staffs at Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS) and teachers at Graduate school of Environmental Science and Business Administration, Public University Corporation Tottori University of Environmental Studies participate as Invited Professors and Associate Professors of the United Graduate School.

### Academic Advisors

Each student is supervised by three Faculty members: one Professor or Associate Professor as a major supervisor and two Professors or Associate Professors as associate supervisors.

## Education

The coursework includes lectures and individual research conducted under the guidance of major and associate supervisors. All students are registered as students of Tottori University, but their coursework is mainly conducted in the graduate school of the major supervisor. In addition, students are able to use the facilities and equipment of the other two universities.

The educational system has changed from a seminar system to an academic credit system since FY 2008. A student must acquire at least 14 credits and pass the doctoral dissertation review along with a final examination.

In order to attain a doctoral degree, the student is required to have two or more papers published in journals issued by professional societies (in the case of joint authorship, the student must be the first author).

## Core Subjects

Based on the concept for establishment of the UGSAS, the students should take Core Subjects to acquire not only general and comprehensive knowledge of agricultural sciences but also deepen their knowledge in related field.

Core Subject consists of (1) Comprehensive Agricultural Science, (2) Advanced Subjects on each three doctoral Courses and (3) Academic Communication Science.

Core subjects consist of three types of courses as follows: (1) and (2) are elective subjects and 2 credits or more are needed.

- (1) · Comprehensive Agricultural Science J (1 credit) (in Japanese; first term)  
· Comprehensive Agricultural Science E (1 credit) (in English; second term)
- (2) Advanced Subjects in each three doctoral courses
  - Advanced Bioproduction and Bioenvironmental Sciences
  - Advanced Bioresource and Life Sciences
  - Advanced Global Dryland Science

(3) Academic Science Communication I, II (required subject)

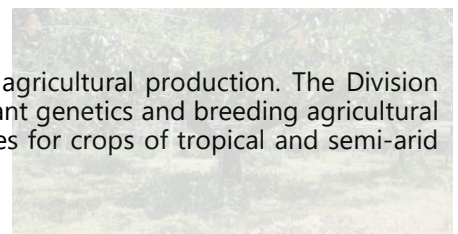
The students make a poster presentation, including an oral portion about the progress on their own research. Through discussions, the students will consider and improve their Doctoral dissertation. It's necessary for the students to take this course in the first and second year. This subject aims to enhance the student's activity and motivation as the final goal of the course in our UGSAS.

## Outline of Courses

### Bioproduction and Bioenvironmental Sciences

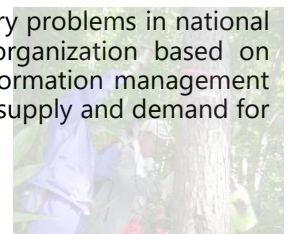
#### Agricultural Production Science

The goal of this Division is to develop systematic programs for agricultural production. The Division offers research programs in the following areas : crop physiology plant genetics and breeding agricultural and horticultural production, and livestock science. Research facilities for crops of tropical and semi-arid lands are also available.



#### Managerial Economic

The goal of this Division covers two fields : to investigate agricultural and forestry problems in national and international economies and the rational development of management organization based on analyses of factors for production and marketing, to conduct development of information management techniques necessary for agriculture and forestry, as well as making predictions of supply and demand for agricultural and forestry products in the world.

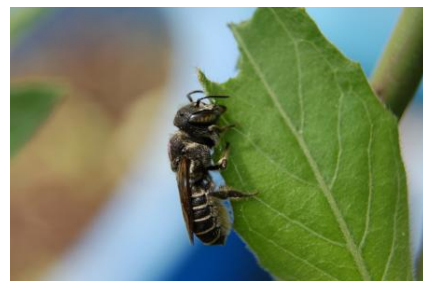


#### Forest and Watershed Environmental Sciences

The goal of this division is to analyze the conservation, regeneration and sustainable use of watershed environment systematically and comprehensively by grasping watershed system as one geographical unit. Of the watershed environment, forests are an important environment and resources. Therefore, basic and applied researches on various functions such as land and water conservation, biodiversity preservation, renewable and sustainable resources management, atmospheric environmental stability, health recreation are performed in this division. In addition, water quality of inland waters such as rivers and lakes is also discussed from the viewpoint of ecosystem conservation and sustainable management of watershed system.

## Environmental Bioscience

The mission of this division is to develop ecologically sound practices that facilitate stable agricultural, forestry and fisheries production. Major research programs are as follows; physiology and ecology of microorganisms, insects, plants and aquatic organisms; plant-microbe interactions; plant disease and pest controls; assessment and management of resource organisms in the agricultural environment.



## Bioresource and Life Sciences

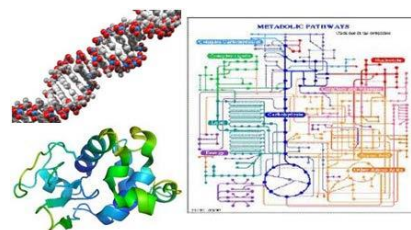
### Fungus and Mushroom Sciences

The major goal of this division is to foster human resources who can contribute to promote research by utilizing various useful functions and developing unused functions of fungi including mushrooms in the fields of environmental preservation, biotechnology, health promotion, and food production. To achieve this goal, the division develops a wide range of advanced education and research on fungus/mushroom resource sciences from basic research field related to the search, evaluation and preservation of fungus/mushroom resources to applied research field.



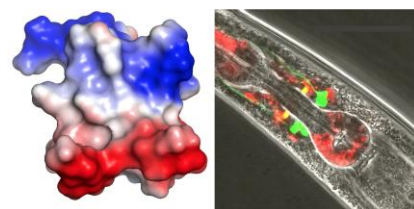
### Bioscience and Biotechnology

The major focus of this Division is on molecular and cellular characterization and functional analysis of living organisms and on their biotechnological applications to agricultural production. This Division offers basic and applied research programs to study plants, insects, microorganisms, and mammals. The research subjects are applied microbiology, biochemistry, biotechnology, entomology, molecular biology, and radiation biology.



### Applied Bioresource Chemistry

The major goal of this division is to develop advanced utilization of biological resources using chemical and biological techniques and tools (chemical biology). This division has basic and applied research programs to characterize biologically active compounds (from small molecules to macromolecules) from the biological resources in the fields of bioorganic chemistry, bioinorganic chemistry, biochemistry, food and nutritional chemistry, molecular and cellular biology, and structural biology. These programs contribute to the improvement of agricultural production or the development of the compounds related to functional food and medicine.



## Global Dryland Science

### Global Dryland Science

It is an important task for humans to have secure food supply to support the increasing population while protecting the environment. We believe that one of the keys to accomplish this goal is to enhance food productivity in dryland and to combat desertification in the world. This division is interdisciplinary one including water-use planning, ecological climatology, livestock feeding, pedosphere ecological engineering, bio-environmental control engineering. This division offers research programs and trainings to become excellent researchers and engineers who have practical skills and capacity for leadership in dryland sciences and solving problems in dryland such as food scarcity or desertification.



# Qualifications of Applicants

## Admission Policy (New Student Admission Policy)

The UGSAS seek those students, (1) who have the basic knowledge and academic ability required in each major field of bioproduction and bioenvironmental sciences, bioresource and life sciences, and global dryland science; (2) who are motivated to acquire a higher level of expertise and skills and engage in original research by leveraging such expertise and skills; and (3) who are eager to contribute to the development of science and technology and the demands of regional and international communities. Below are the characteristics of the students that each major Course seeks.

### Bioproduction and Bioenvironmental Sciences

Individuals who are interested in issues concerning production, marketing and consumption, bioproduction and bioenvironment, and forest and watershed environment in agriculture and forestry and eager to work on solving these various issues.

### Bioresource and Life Sciences

Individuals who are interested in a variety of biological functions in living organisms including animals, plants, and fungi, and eager to clarify the molecular mechanisms from the advanced biosciences perspective taking into consideration of utilization of them as useful biological resources.

### Global Dryland Science

Individuals who are interested in global issues such as food and environment in drylands and eager to act globally with broad view as well as professional knowledge and technologies.

## Requirements

- ❑ Those who have been awarded a Master's Degree
- ❑ Those who have been awarded a degree equivalent to a Master's Degree from a foreign university.
- ❑ Those who have been educated in Japan through a correspondence course provided by a foreign institute and have attached a degree equivalent to a Master's degree after finishing basic education of the 16 years in a foreign country.
- ❑ Those who have been completed a course of study at the United Nations University and have been awarded a degree equivalent to a Master's degree.
- ❑ Those who are selected by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- ❑ Those whose academic achievements are judged to be equal or higher than those of a person with a Master's Degree by a separate qualification screening , and are already 24 years old.

## Selection Procedure

Students will be selected based on an evaluation of the oral examination and the submitted documents. The oral examination will focus on the Master's research program and the research proposal for work at the UGSAS.

In addition, the UGSAS offers Pre-arrival Admission; "Special Admission of Foreign Students", and applicants will be selected by the oral examination via skype/videoconference systems.

## Application Procedure

Details of application procedure will be described in Guidelines for Applicants published in June (for Entrance in October) and in November (for Entrance in April).

# Requirements for Doctoral Degree

## Diploma Policy (Degree Conferment Policy)

The UGSAS will confer Ph.D. (Agriculture) degrees on students who have acquired the research capabilities and in-depth knowledge required to engage in independent research activities or highly professional tasks as researchers in agriculture and related fields. Below are the degree requirements in each major Course.

### Bioproduction and Bioenvironmental Sciences

Students are required to acquire academic knowledge and high technologies to obtain ability to conduct research for contributing to solve issues occurring in production, marketing and consumption, bioproduction and bioenvironment, and forest and watershed environment in agriculture and forestry.

### Bioresource and Life Sciences

Students are required to acquire academic knowledge and high technologies to obtain ability to conduct research for clarifying biological functions in various living organisms including animals, plants, and fungi, and for performing advanced utilization of them as useful biological resources.

### Global Dryland Science

Students are required to acquire academic knowledge and high technologies to obtain ability to conduct research for contributing to solve global issues such as food and environment in drylands.

## Doctoral Degree

Every student is basically required to study for at least 2 years and to earn 14 academic credits before to submitting a doctoral dissertation to the school.

One must pass the examination of the doctoral dissertation and the final academic ability test by the Examination Committee.

Students will be conferred a degree of Doctor of Philosophy by Tottori University when the above requirements are completed.

## Dissertation Doctors : Ron-paku

Tottori University can confer a Doctoral Degree to those whose academic achievements are equal to or higher than the course doctoral students, and who submit a doctoral dissertation and pass the subsequent examination.



## Number of Students

Course	Capacity		Actual Enrollment			
	Annual Admission	Total Number	1st-year students	2nd-year Students	3rd-year Students	Total
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	8	26	10(4)	4(1)	12(4)	26(9)
Bioresource and Life Sciences	7	30	5(4)	15(6)	10(5)	30(15)
Global Dryland Science	4	26	8(6)	4(3)	14(8)	26(17)
<b>Total</b>	<b>19</b>	<b>82</b>	<b>23(14)</b>	<b>23(10)</b>	<b>36(17)</b>	<b>82(41)</b>

(As of April 1, 2026)

1) (...) Number of foreign students.

2) Four courses (Bioproduction Science, Bioenvironment Science, Bioresources Science, Global Arid Land Science) were reorganized into three courses (Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences, Global Dryland Science) on Apr.1, 2018.

## Number of Foreign Students

Region	Country	Course			Total
		Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Bioresource and Life Sciences	Global Dryland Science	
Asia	China	2	2	1	5
	Bangladesh	2		1(1)	3(1)
	Indonesia	1	7(7)		8(7)
	Thailand		1(1)		1(1)
	Philippines	1(1)			1(1)
	India		1		1
	Sri Lanka		3		3
	Mongolia			1	1
	Taiwan		1		1
Africa	Sudan	1		1(1)	2(1)
	Ethiopia	1(1)		5(4)	6(5)
	Nigeria			4(3)	4(3)
	Benin	1			1
	Gambia			1(1)	1(1)
	Tanzania			1(1)	1(1)
	Egypt			1(1)	1(1)
Latin America	Mexico			1	1
<b>Total</b>		<b>9(2)</b>	<b>15(8)</b>	<b>17(12)</b>	<b>41(22)</b>

1) (...) Number of governments funded foreign students

(As of April 1, 2026)

# Number of Successful Doctoral Degree Candidates

## Course Doctorates

Year (FY)	Number of Course Doctorates						Total
	Course						
	Bioproduction Science	Bioenvironmental Science	Bioresources Science	Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Bioresource and Life Sciences	Global Dryland Science	
1991-1999 subtotal	79 ( 58)	76 ( 43)	60 ( 27)				215 (128)
2000	7 ( 4)	14 (10)	9 ( 6)	-	-	-	30 (20)
2001	14 ( 9)	7 ( 3)	7 ( 5)	-	-	-	28 (17)
2002	7 ( 5)	12 ( 7)	5 ( 2)	-	-	-	24 (14)
2003	19 (12)	12 ( 7)	12 ( 7)	-	-	-	43 (26)
2004	18 (14)	7 ( 5)	13 ( 5)	-	-	-	38 (24)
2005	15 ( 9)	12 ( 8)	10 ( 6)	-	-	-	37 (23)
2006	12 ( 5)	13 ( 7)	8 ( 3)	-	-	-	33 (15)
2007	11 ( 7)	23 (17)	6 ( 3)	-	-	-	40 (27)
2008	8 ( 7)	16 ( 9)	8 ( 3)	-	-	-	32 (19)
2009	8 ( 5)	11 ( 7)	5 ( 4)	-	-	-	24 (16)
2010	4 ( 4)	12 ( 8)	6 ( 2)	-	-	-	22 (14)
2011	10 ( 7)	8 ( 5)	6 ( 4)	-	-	5 ( 5)	29 (21)
2012	6 ( 6)	10 ( 5)	5 ( 1)	-	-	8 ( 5)	29 (17)
2013	5 ( 2)	4 ( 2)	4 ( 2)	-	-	6 ( 4)	19 (10)
2014	4 ( 3)	4 ( 1)	4 ( 1)	-	-	4 ( 2)	16 ( 7)
2015	8 ( 5)	2 ( 2)	5 ( 2)	-	-	3 ( 3)	18 (12)
2016	9 ( 3)	5 ( 3)	3 ( 1)	-	-	2 ( 2)	19 ( 9)
2017	8 ( 5)	0	3 ( 1)	-	-	5 ( 5)	16 (11)
2018	0	2 ( 1)	2 ( 1)	-	-	8 ( 6)	12 ( 8)
2019	5 ( 3)	8 ( 5)	3 ( 2)	-	-	9 ( 6)	25 (16)
2020	3 ( 3)	1	2 ( 1)	4(2)	1	10 ( 9)	21 (15)
2021	1 ( 1)	2 ( 2)	1	3(1)	3(1)	9 ( 7)	19 (12)
2022	2	0	0	7(3)	7(3)	7 ( 7)	23 ( 8)
2023		1	2(1)	3(1)	6(3)	4( 3)	16(8)
2024			1(1)	12(8)	8(6)	8(8)	29(23)
2025				5(2)	5(3)	9(7)	19(12)
Total	263 (177)	262 (157)	190(91)	34(17)	30(16)	97(79)	876 (537)

※ ( ) … Number of foreign students

(As of April 1, 2026)

## Dissertation Doctorates

Year (FY)	Number of Dissertation Doctorates	Year (FY)	Number of Dissertation Doctorates
1992-1999 Subtotal	20(3)	2013	10(1)
2000	7(1)	2014	3
2001	4	2015	4
2002	4(1)	2016	8(2)
2003	8(3)	2017	3(1)
2004	5(2)	2018	3(1)
2005	8(1)	2019	1
2006	5(2)	2020	1
2007	8(3)	2021	1
2008	4	2022	1
2009	10(3)	2023	0
2010	7(2)	2024	0
2011	6(2)	2025	0
2012	8(3)	Total	138(31)

※ ( ) … Number of foreign students

(As of April 1, 2026)

# Research and Educational Fields of Major Supervisors

(As of April 1, 2026)

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Agricultural Production Science	ARAKI Hideki	Yamaguchi	Agronomy	Function of plant production under environmental stresses and its agronomical application
		KOBAYASHI Nobuo	Shimane	Horticultural Breeding	Evaluation of plant genetic resources and applications for breeding
		TAKAHASHI Tadashi	Yamaguchi	Crop Science	Establishment of low-cost and low-input crop cultivation systems
		TAKEMURA Yoshihiro	Tottori	Horticultural Science	Studies on the crop ecophysiology in horticultural crops
		TANAKA Hiroyuki	Tottori	Plant Genetics	Genetic and breeding studies on improving quality of wheat flour
		TSURUNAGA Yoko	Shimane	Food Processing	Studies on manufacturing method and functionality in food processing
		NAKATSUKA Akira	Shimane	Molecular Breeding of Horticultural Crop	Molecular breeding for agriculturally useful traits in horticulture crops
		NONAMI Kazuyoshi	Tottori	Agricultural Production Engineering	Mechanization of agricultural work
		MATSUMOTO Shingo	Shimane	Biochemistry of Soil and Plant Nutrition	Studies on the mechanism of plant nutrient acquisition in relation to soil fertility
		YANO Akira	Shimane	Plant Environmental Engineering	Application of photonics technology in plant cultivation environments
	Managerial Economics	ASRES Elias Baysa	Tottori	Rural Development and Agricultural Extension	Socio-economic studies of rural and agricultural development interventions in Africa and Southeast Asia, with a particular focus on understanding their effects on farm productivity, livelihoods, and poverty alleviation
		KIHARA Nahoko	Tottori	Agribusiness Accounting	Organizational management and accounting in agriculture and rural areas
		TSUTSUI Kazunobu	Tottori	Rural Geography / Regional Economics	Studies on regional economy and community development in Rural areas
		MATSUDA Toshinobu	Tottori	Economics of Consumer Behavior	Empirical analysis of consumer behavior, especially food demand
		MATSUMURA Ichizen	Tottori	Farm Management	Studies on the relationship between farm management and rural society
		YASUNAGA Nobuyoshi	Shimane	Regional Economics	Sustainability of farmlands, communities, and economies in less favored areas
	Forest and Watershed Environmental Sciences	YASUNOBU Kumi	Tottori	International agricultural development studies	Agricultural and rural development in Southeast Asia
		ISHII Masayuki	Shimane	Regional infrastructure Engineering	Development of designing method for renovation of irrigation facilities
		IWASAKI Nobusuke	Tottori	Geographic Information Science	Application of Free and Open Source Software for Geospatial (FOSS4G) and Open Data for analyzing historical landscape changes in Satochi-Satoyama (traditional rural areas)
		KUBO Masako	Shimane	Plant Ecology	Plant ecology, vegetation and conservation
		NAGAMATSU Dai	Tottori	Plant Ecology	Population dynamics of forest and grassland, vegetation science and biodiversity conservation
		FUJIMOTO Takaaki	Tottori	Wood Physics	Analysis of wood property variation, and development of measurement techniques
		YOSHIMURA Tetsuhiko	Shimane	Forest Utilization	Social and technological issues in forest utilization and wood harvesting
		Environmental Bioscience	ARANISHI Futoshi	Shimane	Conservation ecology
	UENO Makoto		Shimane	Plant Pathology	Studies on the expression of resistance in plant-microbe interaction
	KAMINAKA Hironori		Tottori	Plant-Microbe Interactions	Molecular mechanisms of immune response and mycorrhizal symbiosis in plants
	KARASAWA Shigenori		Tottori	Biodiversity	Genetic diversity and species diversity of invertebrates
	KIHARA Junichi		Shimane	Plant Pathology	Photoresponses of the phytopathogenic fungi
NAKA Hideshi	Tottori		Applied Entomology	Revealing the chemical ecology of insects, mainly moths, and their application to agricultural pest control	
HOSOI Eiji	Yamaguchi		Applied Animal Ecology	Ecological study of pest and/or endangered animal species for management and conservation	
YAMAGUCHI Keiko	Shimane		Aquatic Ecology	Studies on ecology of benthic animals and aquatic environments	

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field		
				Major	Major Research Interests	
Bioresource and Life Sciences	Fungus and Mushroom Sciences	AIMI Tadanori	Tottori	Biochemical Technology of Microorganisms	Biochemistry, molecular biology and biotechnology of microbial production	
		SHIMOMURA Norihiro	Tottori	Mushroom Breeding and Cultivation	Studies on breeding and cultivation of mushroom resources	
		SOTOME Kozue	Tottori	Mushroom Phylogeny and Taxonomy	Phylogenetic taxonomy of mushrooms, and ecological researches of wood-decaying basidiomycetes	
	Bioscience and Biotechnology	ARIMA Jiro	Tottori	Bio-Functional Chemistry	Functional analysis of enzymes and microorganisms, and their application to industry	
		ISHIKAWA Takahiro	Shimane	Plant Molecular Physiology	Biosynthesis pathway of antioxidants and metabolism of reactive oxygen species in photosynthetic organisms	
		IWASAKI Takashi	Tottori	Bioregulatory Chemistry	Development and screening of bioactive substances regulating biological function	
		SHIOTSUKI Takahiro	Shimane	Insect Chemical Biology and Agrobio-Regulators	Chemical biology and molecular mechanisms in regulation of insect development and their applications	
		FURUMIZU Chihiro	Shimane	Plant Molecular Genetics	Uncovering and harnessing the genetic basis of plant growth, form, and diversity	
		MATSUO Yasuhiro	Shimane	Microbial Genetics	Cell signaling and cell cycle control in fission yeast	
		MARUTA Takanori	Shimane	Plant Physiology	Redox metabolism network and stress response in plants	
		YAMAMOTO Atsushi	Tottori(Tottori University of Environmental Studies)	Environmental mass spectrometry	Using mass spectrometry to characterize chemical composition and contamination in air, water, soil, and biological systems.	
		Applied Bioresource Chemistry	ISHIHARA Atsushi	Tottori	Natural Product Chemistry	Function, Biological activity, and Biosynthesis of metabolites produced by plants and microorganisms
			ICHIYANAGI Tsuyoshi	Tottori	Organic Chemistry	The molecular design and functional analysis of bioactive compounds
			KAWANO Tsuyoshi	Tottori	Bioorganic Chemistry	Regulation of diapause, metabolism and longevity corresponding to the growth environment
			KOEDUKA Takao	Yamaguchi	Plant Specialized Metabolism	Research on the diversity and metabolic engineering of plant specialized metabolites
			JISAKA Mitsuo	Shimane	Chemistry in Food Function	Modification of functional components in foods using enzymes and microorganisms
			SHIMIZU Hidehisa	Shimane	Nutritional Pathophysiology	Study on the relationship between food-derived bacterial metabolites or cyanobacteria-derived toxins, and pathogenesis of diseases
	TAMURA Jun-ichi		Tottori	Organic Chemistry	Chemical synthesis of bioactive glycans and isolation/characterization of natural glycans	
	NOOTHALAPATI Hemanth		Shimane	Molecular Spectroscopy and Imaging	Development of AI-assisted spectroscopic imaging technologies and their applications in biological, medical, environmental and food sciences	
	BITO Tomohiro		Tottori	Food Function	Research on the biological functions of vitamins and other food components contained in foods	
YABUTA Yukinori	Tottori		Nutritional Science	Studies on the function of antioxidant vitamins and oxidative stress response		
YAMAMOTO Tatsuyuki	Shimane		Bio-molecular Spectroscopy	Spectroscopic studies on life science and medical applications		
YOSHIKIYO Keisuke	Shimane		Molecular Recognition Engineering	Research on food applications of cyclodextrin inclusion complexes		

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Global Dryland Science	Global Dryland Science	AKASHI Kinya	Tottori	Molecular and Cellular biology	Molecular responses of drought-tolerant plants and their application to molecular breeding
		Nigussie Haregeweyn AYEHU	Tottori	Land Management	Watershed processes monitoring, modeling and management
		TSUNEKAWA Atsushi	Tottori	Conservation Informatics	Monitoring and modeling of plant production and ecosystem change in drylands
		AN Ping	Tottori	Plant Eco-Physiology	Physiological responses and relative mechanisms of plants and plant ecophysiology in dry lands
		ISHII Takayoshi	Tottori	Plant Cytogenetics	Improving crops through cellular engineering methods
		ICHINOHE Toshiyoshi	Shimane	Livestock Feeding	Evaluation of ruminants production system
		INOSAKO Koji	Tottori	Soil and Water Management	Conservation, restoration and sustainable use of soil and water environment
		IBARAKI Yasuomi	Yamaguchi	Bio-environmental Control Engineering	Environmental control in plant production
		ENDO Tsuneyoshi	Tottori	Soil Chemistry	Influence of soil properties and irrigation water quality on soil salinization/sodicization in irrigated farmlands of arid regions
		OGATA Hidehiko	Tottori	Irrigation and Drainage Facilities Engineering	Evaluation of construction materials and structural performance of irrigation and drainage structures
		KISHII Masahiro	Tottori	Plant genetic resource development	Research and utilization of plant genetic resources with high environmental tolerance for breeding
		KINUGASA Toshihiko	Tottori	Dryland Restoration and Conservation Ecology	Ecology and ecophysiology of plants in arid and semi-arid grasslands
		KIMURA Reiji	Tottori	Boundary Layer Meteorology	Heat and water balance in arid lands
		KUROSAKI Yasunori	Tottori	Dryland Climatology	Climate change and variability, wind erosion, dust emission in drylands, and impacts of aeolian dust on climate
		SAKUMA Shun	Tottori	Plant molecular breeding	Elucidation of the genetic basis controlling important traits and genomic breeding in crops
		SHIMIZU Katsuyuki	Tottori	Water Use and Management	Monitoring and assessment of irrigation water management
		SUZUKI Kenji	Yamaguchi	Meteorology	Observational study on precipitation mechanisms and development of instruments for hydrometeor measurements
		TAGAWA Kotaro	Tottori	Renewable Energy Engineering	Technological development and optimal design of renewable energy systems and components
		TANIGUCHI Takeshi	Tottori	Microbial Ecology	Soil and root microbial ecology and the application
		TSUBO Mitsuru	Tottori	Climate Risk Management	Dryland agrometeorology and climate-smart agriculture
		NISHIHARA Eiji	Tottori	Crop Production in Drylands	Construction of crop production system in areas including drylands
		HYODO Masahiro	Tottori	Facilities and Environmental Materials	Rehabilitation management of agricultural irrigation facilities and development of environmental materials
		Fente Ayele Almw	Tottori	Hydrology and Geospatial Analysis	Monitoring and modeling of hydrological processes, analysis of hydro-climatic extremes, and application of geospatial analysis techniques
		FUJIMAKI Haruyuki	Tottori	Irrigation and Drainage	Water-saving irrigation and salinity management
		YAMADA Satoshi	Tottori	Plant Nutrition	Mechanisms of Response to Stresses of Plants in Arid Regions

# Research and Educational Supervisors

(As of April 1, 2026)

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Agricultural Production Science	IKEURA Hiromi	Shimane	Postharvest Horticulture	Studies on the aroma and functionality of horticultural plants.
		UJIE Kazuhiro	Shimane	Crop Science	Studies on the introduction of quinoa cultivation in San'in region
		ESUMI Tomoya	Shimane	Horticultural Crop Physiology	Reproductive physiology in fruit and ornamental trees
		KADONO Atsunobu *	Tottori(Tottori University of Environmental Studies)	Soil Science	Pedology-based modeling of biogeochemical cycles
		KADOWAKI Masayuki	Shimane	Crop Science	Studies on the photosynthesis and dry matter production in field crops
		KIM Junghee	Yamaguchi	Fruit science	Inheritance of various traits in fruit trees and their use in breeding
		KOBAYASI Kazuhiro	Shimane	Crop Science	Crop production under abiotic stresses
		KONDO Kensuke	Tottori	Vegetable Science	Studies on vegetable cultivation technology
		SHIGYO Masayoshi	Yamaguchi	Vegetable Crop Science	Studies on Breeding and Cultivation of Vegetables
		SHIRO Sokichi	Shimane	Soil Microbiology	Studies on the improvement of legume crop productivity by utilizing symbiotic nitrogen fixation
	TANAKA Hideyuki	Shimane	Horticultural Science	Studies on production of horticultural plants	
	Managerial Economics	TOYAMA Yuki	Tottori	Regional Agricultural Systems	Organizational Dynamics of Farmers and Local Residents
		NAKAMA Yukiko	Shimane	Agricultural policy	Studies on agricultural policies in postwar Japan

\* Cooperation with JIRCAS and Tottori University of Environmental Studies.

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Bioproduction and Bioenvironmental Sciences	Forest and Watershed Environmental Sciences	IWANAGA Fumiko	Tottori	Tree Physiology	Tree ecophysiology in forests
		UENO Kazuhiro	Shimane	Water Circulation Design Engineering	Development of maintenance and disaster prevention methods for irrigation and drainage facilities
		KATO Sadahisa *	Tottori(Tottori University of Environmental Studies)	Ecological Planning	Nature-based Solutions, Green Infrastructure
		KUWABARA Tomoyuki	Shimane	Water Environmental Conservation	Conservation and restoration of water environment, and purification of waste water and environmental water
		SUGAMORI Yoshiaki	Tottori	Historical Geology	Approaching the geohistory and mechanism of the Earth with geology
		TAKAHASHI Erina	Shimane	Silviculture	Research on forest management of artificial forests and dynamics of natural forests
		HAGA Hirokazu	Tottori	Forest Hydrology	Water cycle, organic matter export, and instream wood dynamics
		HAGIWARA Taiki	Yamaguchi	Nondestructive Inspection	Nondestructive inspection of water pipeline systems based on fluid-structure interaction
		YAMASHITA Tamon	Shimane	Forest Science	Forest Ecology and Environment
		YAMANAKA Keisuke	Tottori	Silviculture	Research on forestry and forest management
	YONE Yasumichi	Shimane	Forest Remote Sensing	Studies on forest measurement and resource management using satellites, airborne, UAVs and terrestrial lasers.	
	Environmental Bioscience	IZUMI Yohei	Shimane	Insect Physiology	Studies on diapause and cold hardiness in insect
		OSAKI Kumiko	Tottori	Plant pathology	Studies on plant disease control in plant-pathogen interactions
		OHTA Taro *	Tottori(Tottori University of Environmental Studies)	Aquatic Biology	Ecology, Conservation, and Management of Aquatic Organisms
		KITAZAWA Yugo	Yamaguchi	Plant Pathology	Studies on infection mechanisms of bacterial plant pathogen
		KIDO Kazutaka	Tottori	Plant Pathology	Mechanism of seed borne diseases by plant-pathogenic bacteria
		SASAKI Kazunori	Yamaguchi	Plant Pathology	Mechanisms of pathogenicity expression in plant-microbe interactions
		SHIMIZU-KAYA Usun	Shimane	Insect Ecology	Species interactions of insects and plants
		HAYASHI Shohei	Shimane	Microbial Ecology	Ecology of soybean-nodulating rhizobia, Antarctic bacteria, and cyanobacteria in the environment and their applications
		HORINOUCHI Masahiro	Shimane	Fish Ecology	Fish ecology in coastal habitats such as seagrass beds and mangrove areas
YANAGI Yukiko		Yamaguchi	Soil Science	Dynamics of soil organic matter / Soil genesis	

\* Cooperation with Tottori University of Environmental Studies.

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Bioresource and Life Sciences	Bioscience and Biotechnology	IMAMURA Hiromi	Yamaguchi	Analytical Cellular Biochemistry	Study on energy metabolism homeostasis with advanced analytical methods
		OKA Mariko	Tottori	Plant Environmental Physiology	Research on plant physiological response mechanisms under diverse environmental conditions
		OGAWA Takahisa	Shimane	Plant molecular physiology	Metabolism of vitamin-derived coenzymes in plants
		KAINO Tomohiro	Shimane	Applied microbiology	Elucidation of biosynthesis, regulatory mechanism and function of coenzyme Q (ubiquinone)
		KATAOKA Naoya	Yamaguchi	Fermentation Physiology and Engineering	Understanding of physiological characteristics of fermentation microorganisms and its biotechnological application
		KOSAKA Tomoyuki	Yamaguchi	Functional microbiology	Research using microbial cells to study gene function
		SATO Yu	Yamaguchi	Microbial Biothermology	Research on temperature adaptation mechanisms of microorganisms and their applications
		NAKAGAWA Tsuyoshi	Shimane	Plant Molecular Genetics	Functional analysis of genes responsible for growth and development of plants
		HACHIYA Takushi	Shimane	Plant Nutrition and Physiology	Nitrogen responses in plants
		YAKUSHI Toshiharu	Yamaguchi	Biochemistry	Biochemistry
		YUYAMA Ikuko	Yamaguchi	Environmental microbiology	Research on symbiotic associations with microbes
		YOSHIDA Masa-aki	Shimane	Genome Biology	Evolution and biodiversity of marine invertebrates based on genome information
	Applied Bioresource Chemistry	AZAKAMI Hiroyuki	Yamaguchi	Molecular Microbiology	Molecular mechanisms of bacterial colonization to host surface
		AKAKABE Yoshihiko	Yamaguchi	Organic Chemistry	Search for naturally active compounds
		IUCHI Yoshihito	Yamaguchi	Functional Food Chemistry	Study on biomolecular mechanism of the long-lived termite for anti-aging and longevity
		ISHIGAKI Mika	Shimane	Molecular spectroscopy, Analytical Chemistry	Non-destructive analysis of living bodies and biomolecules using molecular vibrational spectroscopies
		UENO Kotomi	Tottori	Bioactive Chemistry	Identification and development of plant hormone-like compounds
		OZAKI Shin-ichi	Yamaguchi	Chemistry	Structure and function of enzymes
		KIMATA Yoko	Yamaguchi	Biomolecular science	Elucidation and application of the anabolic metabolic control mechanism of plants
		NISHIMURA Kohji	Shimane	Plant Molecular Cell Biology	Study of membrane trafficking of plant proteins and generation and application of health functional plants
MAENO Shintaro	Yamaguchi	Food Microbiology	Bacterial taxonomy and environmental adaptation		
MATSUI Kenji	Yamaguchi	Plant Biochemistry	Study on plant metabolic pathway and its ecophysiological function		

Course	Division	Name of Major Supervisor	University	Research and Educational Field	
				Major	Major Research Interests
Global Dryland Science	Global Dryland Science	ISERI Yoshihiko	Tottori	Hydrology	Research on hydrometeorological processes in drylands
		SAITO Tadaomi	Tottori	Soil and water management and conservation	Development and evaluation of environmental monitoring methods for arid land soils, hydrology and vegetation
		SAGO Yuki	Yamaguchi	Protected horticulture	Monitoring and modeling of plant physiology in protected horticulture
		SATO Kuniaki	Shimane	Soil Ecological Engineering	Environmental restoration and resource recycling by soil ecological engineering
		SONG Sanghoun	Shimane	Animal Physiology	Animal nutritional physiology & Insect production and utilization
		HAYASHI Keiichi *	Tottori (JIRCAS)	Climate risk management	Agro-climate and climate change-responsive agriculture in developing regions including arid lands
		Mohamed Mutasim Eltayeb Elebeid	Tottori	Microbial Biotechnology	Functional analysis of environmental and food microorganisms
		YAMAZAKI Yuri	Tottori	Hydrospheric environmental science	Study on the assessment of the impact of the aquatic environment in agricultural areas
		LIU Jiaqi	Shimane	Environmental Physics	Development of Advanced Measurement Technologies and Elucidation of Physical Phenomena in Agricultural Environments

\* Cooperation with JIRCAS.

# Annual Schedule for FY 2026

Month-date-Year	Schedule
<b>2026</b>	
April 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Entrance Ceremony, Orientation for new students</li> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
May 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
May 20 - May 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Academic Communication of Science I</li> </ul>
June 2 - June 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Doctoral Dissertation Application (first term)</li> <li>■ Announcement of the Guidelines for Applicants (for October Admission)</li> </ul>
June 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Announcement of the Guidelines for Applicants (for October admission)</li> </ul>
June 15 - June 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Application for Authorization of Admission Qualification (for October Admission)</li> </ul>
June 17 - June 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Comprehensive Agricultural Science J(in Japanese)</li> </ul>
July 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> <li>■ Membership Committee</li> </ul>
July 14 - July 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Application for the Admission (for October)</li> </ul>
July 22 - July 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Advanced Subjects for 3 courses</li> </ul>
August 19 - August 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Entrance Examination (for October admission)</li> </ul>
August 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> <li>■ the 96<sup>th</sup> Graduate School Committee</li> </ul>
August 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Announcement of Entrance Application Result (for October admission)</li> </ul>
September 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Graduation Ceremony</li> </ul>
October 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Entrance Ceremony, Orientation for new students</li> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
October 7 - October 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Academic Communication of Science II</li> </ul>
November 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Announcement of the Guidelines for Applicants (for April admission)</li> </ul>
November 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
November 18 - November 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Comprehensive Agricultural Science E(in English)</li> </ul>
November 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
December 2 - December 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Doctoral Dissertation Application (second term)</li> </ul>
December 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
<b>2027</b>	
January 5 - January 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Application for the Admission (for April)</li> </ul>
January 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> <li>■ Membership Committee</li> </ul>
February 9 - February 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Entrance Examination (for April admission)</li> </ul>
February 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> <li>■ the 97<sup>th</sup> Graduate School Committee</li> </ul>
February 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Announcement of Entrance Application Result (for April Admission)</li> </ul>
March 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Meeting of Board of Representatives</li> </ul>
March 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Graduation Ceremony</li> </ul>

# 構成大学(事務室)の位置図及び所在地 Information Contacts of Member Universities



## 鳥取大学 農学部

〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101  
TEL : 0857-31-5445  
Faculty of Agriculture, Tottori University  
4-101 Koyama-Minami, Tottori-shi, 680-8553



## 島根大学 生物資源科学部

〒690-8504 松江市西川津町1060  
TEL : 0852-32-6493  
Faculty of Life and Environmental Science,  
Shimane University  
1060 Nishikawatsu, Matsue-shi, 690-8504



## 山口大学 農学部

〒753-8515 山口市吉田1677-1  
TEL : 083-933-5800  
Faculty of Agriculture, Yamaguchi University  
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, 753-8515





# 学位記授与式 Graduation Ceremony





## 鳥取大学大学院連合農学研究科

〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101番地  
TEL: 0857-31-5445

**The United Graduate School  
of Agricultural Sciences, Tottori University**

4-101 Koyama-Minami, Tottori, 680-8553  
TEL: +81-857-31-5445



# 鳥取大学大学院 連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University